



SEABORG
200J

取扱説明書

か い と り む さ し

買取武蔵

中古釣具の買い取り、販売、ロッド&リール修理メンテナンス。
お気軽にお問い合わせください。出張買取も致します。

LINE@

ID検索

@ktr634



即リプ

080-4295-9259







MUSASHI RODS

Repair & Customs

釣り竿&ロッド修理改造, ガイド修理&巻き直し, グリップ延長or短縮,
折れた釣り竿&ロッドも繋げれます。実務経験多数あり。滋賀県琵琶湖
(瀬田川)からすぐ 国道一号線沿いに 実店舗アリ。 持ち込み大歓迎!!
スピード仕上げ & スピード連絡、見積もり可能。 077-516-4200

MUSASHI OVERHAUL

ムサシ オーバーホール

オンライン受付窓口

シマノ、ダイワ、アブ、テイルウォーク etc 実務経験6000台以上、滋賀県琵琶湖(瀬田川)からすぐ国道一号線沿いに 実店舗アリ。 持ち込み大歓迎!! スピード仕上げ & スピード連絡、見積もり可能



中古釣具の買い取り・販売・修理メンテナンス

釣具買取 買取武蔵

www.kaitori634.com



@KAITORI634



Avail



NSK

NSK



SHIMANO

SHIMANO



Abu Garcia

Abu Garcia



**MUSASHI REEL
PAINTING SERVICE**

リールリペイントサービス受付

目次

安全上の注意1~7

電源について.....8~11

電源のつなぎ方.....8

電源について9

バッテリーチェック表示について.....10

コードレスバッテリー取付け方法.....11

お手入れ方法.....12,13

リールのお手入れについて.....12

お手入れ方法12

コード取扱い上のご注意13

コードのお手入れのしかた.....13

その他お手入れ上のご注意.....13

各部の名称と機能.....14,15

スイッチの名称と働き.....16,17

道糸入力方法.....18~27

「棚センサーブライト編」.....18,19

「リールに巻く糸の長さがわかる編」.....20~22

「下巻き入力」.....23~25

「引出し入力」.....26,27

機能設定の基本操作.....28~40

1.モード画面の使い方.....28,29

便利機能の設定のしかた

2.釣りを始める前に30

水面ゼロ設定

道糸が切れてしまったら

3.えらべる船べり自動停止.....31

えらべる船べり自動停止

4.チョイ巻きスピード設定方法32

チョイ巻き

チョイ巻きスピード設定方法

5.チョイ止め設定方法.....33

チョイ止め

チョイ止め設定方法

6.コマセタイマー.....34

コマセタイマー

7.コマセタイマー巻上げ.....35,36

コマセタイマー巻上げ

8.表示補正.....37,38

表示補正

9.その他の便利機能39

いろいろアラーム

アラームON・OFF選択

カウンターランプ

ブレーカー作動表示

10.ハンドルノブの取り外し方40

仕様一覧.....41

リール仕様一覧

カウンター部仕様

展開図.....42

故障かな?と考える前に.....43

ライン入力方法一覧

このリールは下記の方法で入力できます。

P0 指定入力 当社棚センサーブライト巻きデータをインプットするだけのカンタン入力。
18,19

P1 糸長入力 巻く糸の全長がわかっている時に便利な方法。
20~22

P2 下巻き入力 下巻きを入れる時の入力方法。ただし、長さのわかる道糸100M以上が必要です。
23~25

P3 引出し入力 道糸を巻き終った状態から引き出して再入力するための方法です。ただし、長さのわかる道糸100M以上が必要です。
26,27

この度は、シーボーク200Jをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。船釣りに便利な機能が多く搭載されているこの電動リールを正しくご使用いただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。またリール同様、この説明書も大切に保存していただきますようお願い申し上げます。

安全上の注意

電動リールをご使用にあたり注意していただきたい大切なことが記載されています。ご使用前に必ず、お読みいただくようお願い致します。

●マークについて



この記号は「してはいけないこと」を意味しています。
この記号の中や近くに、具体的な禁止内容を表示します。



この記号は「注意すべきこと」を意味しています。
この記号の中や近くに、具体的な注意内容を表示します。

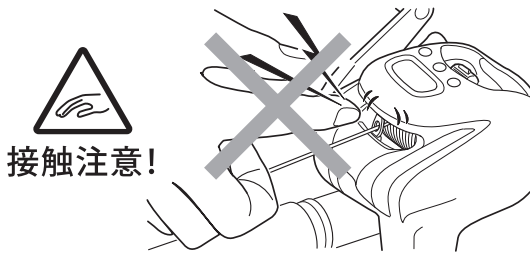


この記号は「しなければならないこと」を意味しています。
この記号の中に、具体的な指示内容を表示します。

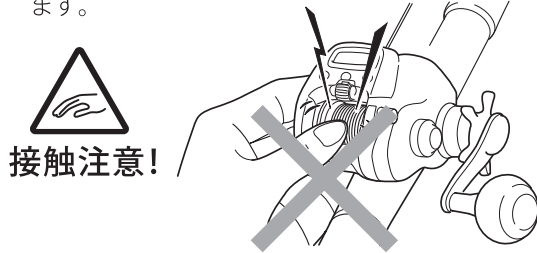
⚠ 警告

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、生命に関わる障害・重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 糸をスプールに平行巻きにするレベルwindと本体の間に指をはさまれないようご注意ください。けがをする恐れがあります。



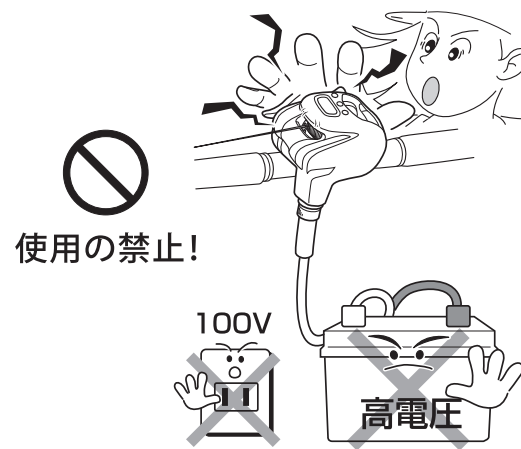
- 糸送り(モーター作動)中にクラッチをONにすると糸を巻き込みます。その際は指をはさまれないよう注意してください。けがをする恐れがあります。



- お子さまが使用する時は、回転部やスキマに手をはさまれないよう、付き添いの保護者の方は十分ご注意ください。



- バッテリー、船電源などを使用する場合は、所定電圧以外を使用しないでください。所定の電圧以外を使用すると、電動リールが異常発熱し、手をヤケドしたり、ICが故障したりする恐れがあります。家庭用(交流)電源にはつながないでください。回路がショートし発煙・発火する場合があります。



- 幼児の手の届く所では保管、使用はしないでください。



安全上の注意

⚠ 警告

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、生命に関わる障害・重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 電動リールを使用されますと微弱な電波が発生し、補聴器・ペースメーカー等の医療機器が誤作動したりするなど影響を与える場合があります。特に心臓ペースメーカーをご使用されている方が電動リールを使用されますと、動悸、目まいが起こる場合がありますので、本製品のご使用前に必ず当該各医療機器メーカー、もしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



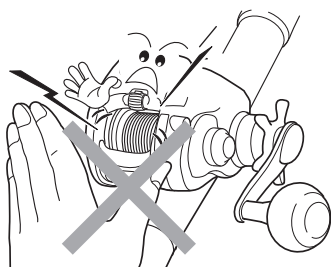
- ハーネスなどで電動リールを体に固定するのはおやめください。大きな魚により、海水へ引き込まれるなど、生命身体に危害が及ぶ恐れがあります。



⚠ 注意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

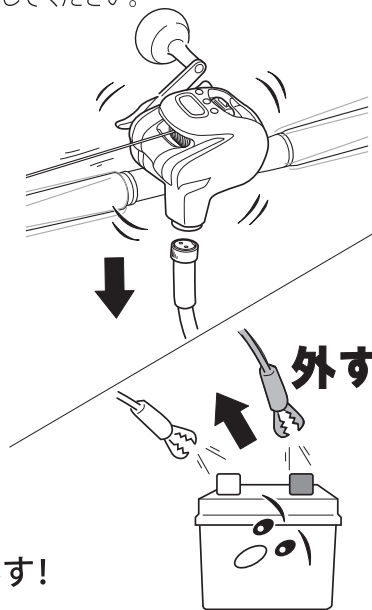
- 駆動しているとき、駆動部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。



- 液晶中に水滴が見られる場合、モーターの回り放しなどICが故障して異常動作をすることがあります。すぐにご使用をやめて修理にお出ください。



- 何らかの異常で釣りの最中にモーターが回り放しになった場合は、指をはさまれない様、注意して、直ちに電源を外してください。



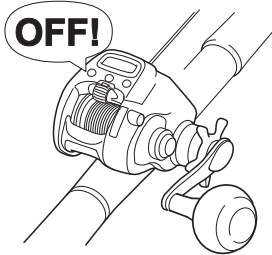
⚠ 注意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ドラグ力を設定する際は、必ずその前に、電動自動巻き上げをOFFにしてください。手で糸を引いてセットする場合があるので、糸で手を切る恐れがあります。



電源を切る!



- 糸が勢よく出ているとき、または、糸を巻いているときに、糸をつかまないでください。糸で指を切ることがあります。



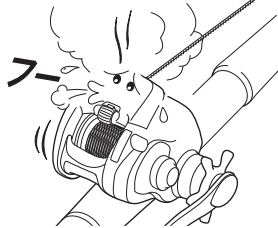
接触注意!



- 屋内で糸を巻くときは、高速で行ってください。低速・高テンションで長時間かけて糸を巻くと、モーターが異常に発熱し発煙する恐れがあります。また、電動巻上性能が低下することがあります。



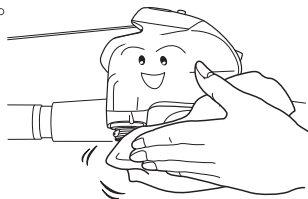
取扱注意!



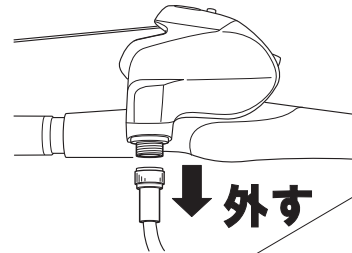
- 船上でコードの再接続をするときは、接続部に海水などの水分が付着していることがありますので、乾いた布でよく拭き取ってから、接続してください。そのまま接続すると、ショートして、感電・発煙・発火の恐れがあります。



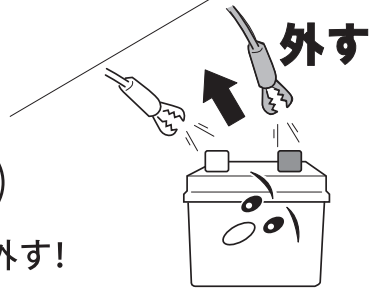
取扱注意!



- お手入れの際は、駆動を停止して、電源を抜いてから行ってください。不意に駆動して、けがをする恐れがあります。



電源を外す!



- 使用状況や保管状況によって、コードが断線、ショートなどの故障を起こし、発煙・発火に至る場合があります。『コード取り扱い上のご注意』、『コードのお手入れのしかた』、『その他お手入れ上のご注意』を必ずお守りください。

なお、コードのお手入れは、電源を外してから行ってください。古いコードは断線、ショート等故障の原因となりますので、リールの性能を維持するためにも、2年での交換をおすすめ致します。



正しい取扱を!



安全上の注意

⚠ 注意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 根掛かりしたときは、竿をあおらず糸を手にとって切るようにしてください。(手袋やタオルで必ず手を保護しましょう。)

太いハリスをご使用になっている場合、手で持って切れそうもないと思われるときは、船長に相談して安全に対処してください。



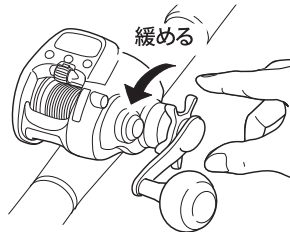
けがに注意!



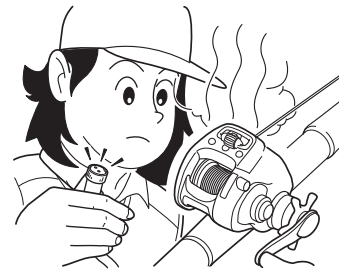
- 電源をつなぐ前に、必ずドラグを十分に緩めてから接続してください。
↓C故障時にモーターが回り放しになり、仕掛けを巻き込み、竿を破損する恐れがあります。



取扱の実施!



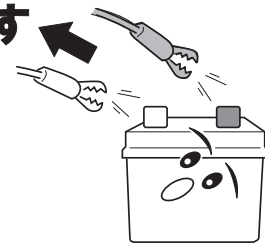
- こげくさい時や漏電など、異常時には直ちに駆動を停止して電源を外してください。発熱や発火、感電などの原因になります。



外す



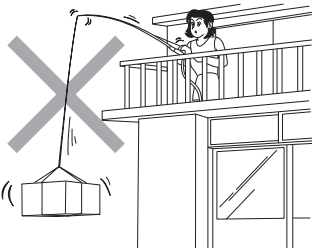
電源を外す!



- リールを釣り以外の目的で使用しないでください。



目的以外の使用禁止!



- リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。



取扱注意!



- 塗装やメッキなどの表面層あるいは素材の表面が剥れた場合は、その部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。



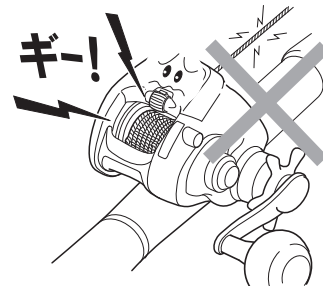
接触禁止!



- ワイヤーは、道糸として使用しないでください。スプールが腐食したり、破損したりすることがあります。



使用の禁止!



⚠ 注意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 他の釣り人と仕掛けが絡んだり、根掛かりしたときは、無理に巻かないでください。竿その他を破損する恐れがあります。



取扱注意!



- 落下などのショックにより破損あるいは内部電子部品の損傷、クラックによる浸水、基板短絡が生じ機能障害を起こします。強い衝撃や重圧が加わらないようご注意ください。(外観上には異常が見られなくても故障していることがあります。)



取扱注意!



- 分解・改良などはしないでください。リールの性能に不具合が生じたり、故障につながる原因となります。



改造の禁止!



- コードの改造はしないでください。ショートなどの故障を起こし、発煙・発火の恐れがあります。



改造の禁止!



- 使用中で、カウンター表示がずれてきたり、道糸が切れたり、電源が外れたり、大きな張力変動があったりしたときは、カウンター表示の再設定を行ってください。

そのまま再度使用しようとすると、巻き込んで竿その他を破損する恐れがあります。

水面に仕掛けがある位置でのリセットを忘れた場合も同様のことが起こる恐れがあります。



操作の実施!



取扱上のご注意

電動リールの取扱いで特に注意していただきたい大切なことが記載されています。ご使用前に必ず、お読みいただくようお願い致します。

■マグシールド

「マグシールド」は磁性を持つ液体を利用することで、磁性を持つ液体の壁を作り、水の浸入をシャットアウトする画期的構造。滑らかな回転はそのままに、水、異物の浸入を抑えることで初期回転性能を長期間持続。イヤな塩ガミがなくなることで、長期間使用時の回転低下や異音を改善し、耐久性が大幅に向上。

■マグシールドボールベアリング

独自の技術により、ボールベアリングそのものをマグシールド化。磁性を持つ液体の壁によって、ボールベアリング内部への水、異物の浸入を抑えることで、ボールベアリング自体の錆、塩ガミ、異音を大幅に解消。



注意

- マグシールドボールベアリングそのものへの注油は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。
- 分解作業は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。



注意

マグシールドボールベアリングの優れた防錆・防塵性能は、内部に封入された磁性を持つ液体(マグオイル)の壁により維持されています。

- マグオイルはやや多めに封入されている為、ボールベアリングの表面にマグオイルが滲み出ることがありますが、性能には影響ありません。(表面の滲み出たオイルは拭き取らないでください。)
- マグシールドボールベアリングを指や、布、綿棒等で触れたり、拭いたりすることは絶対におやめください。マグオイルが拭き取られることにより、マグシールド機能を損なう恐れがあります。

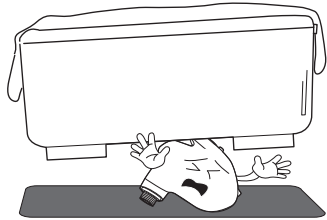
安全上の注意

取扱上のご注意

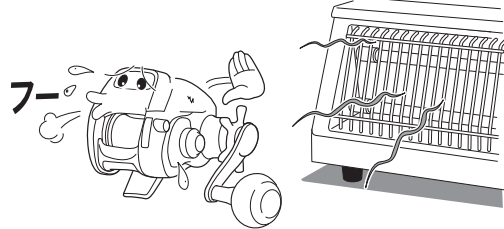
電動リールの取扱いで特に注意していただきたい大切なことが記載されています。ご使用前に必ず、お読みいただくようお願い致します。

⚠️ お願い

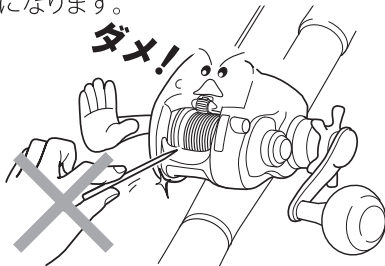
- リールの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。故障の原因になります。



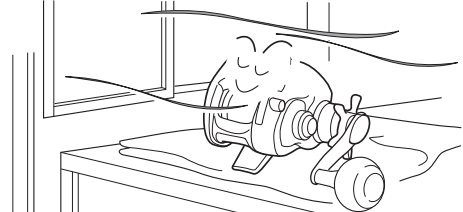
- 発熱器具のそばに置かないでください。樹脂が溶けて変形したり劣化して、故障の原因になります。



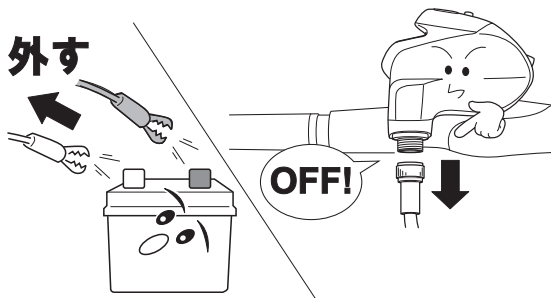
- スプールとフレームのスキマやその他本体のスキマに棒や金属物などを入れないでください。故障の原因になります。



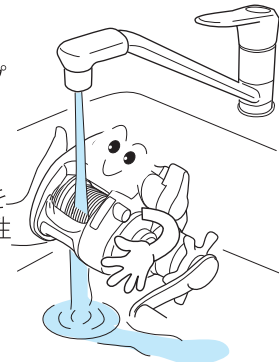
- リールを長期間収納するときは、水分を完全に切り、直射日光を避けなるべく通風性のよい場所に保管してください。また、ドラグを緩めた状態で保管してください。



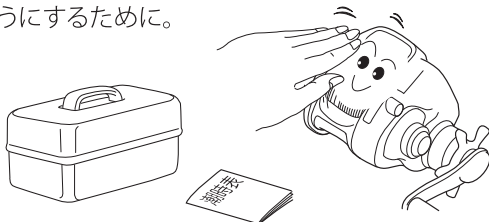
- 電源を外すときは、駆動を停止してから、行ってください。故障の原因になります。



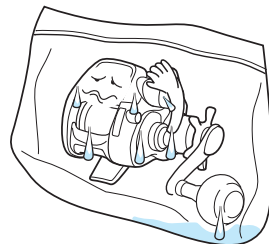
- 塩分を含んだ海水で道糸が湿った状態のまま保管するとスプールが腐食する恐れがあります。水道水を糸巻き部だけにあたるように掛けて海水を十分流してから通気性の良い直射日光のあたらない場所で乾燥させてから保管してください。



- 釣りにお出かけの前には、リールの点検（動作点検）を行ってください。故障によって、釣りに支障をきたすことのないようにするために。



- 濡れたままビニール袋やバケツなどで、リールを保管しないでください。錆や故障の原因になります。



⚠️ お願い

- 電動リールを洗剤で洗うときは、中性洗剤を薄めて使用してください。塩素系、酸性及びアルコール系洗剤は使用しないでください。樹脂が劣化して、故障の原因になります。

中性洗剤

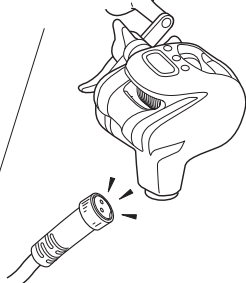
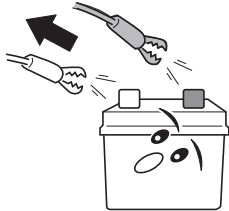


塩素系・酸性・
アルコール系



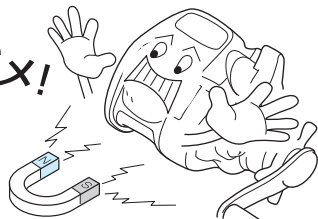
- リールを使用しないときは、電源・コードを外しておいてください。

外す



- 磁石等磁力のある物は近づけないでください。誤動作や故障の原因になります。

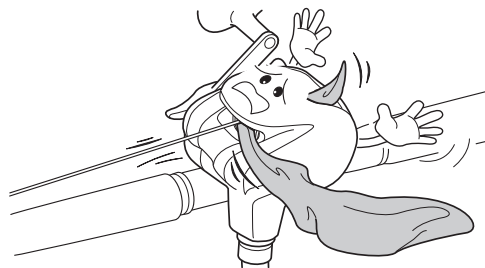
ダメ!



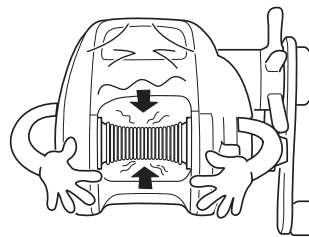
- 振り出しロッドを仕舞い込む際に、リールをつけたまま竿尻を床面等にトントン叩いて仕舞わないでください。リールが破損する恐れがあります。



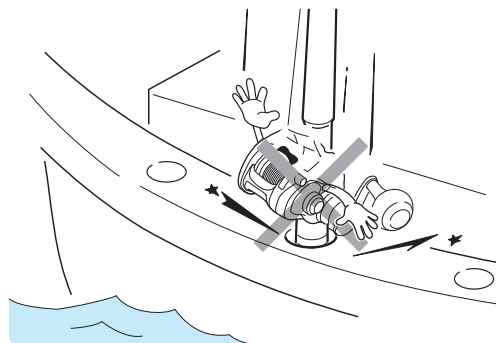
- 糸巻き中に布などが巻き込まれないように、ご注意ください。また、バックラッシュ等によりフケタ糸の巻き込みにもご注意ください。



- 水気を含んだ糸を強い張力で巻いた状態でリールを保管しないでください。保管時に糸が乾燥すると縮み、スプールを破損する恐れがあります。特に、PE専用機種には、ナイロン・フロロラインなどを巻かないでください。



- 船べりの穴へ竿にリールをつけたまま入れる場合は、船べりにリールが直接当たらないか確認してください。当たる場合は、穴へ入れることはおやめください。リールを破損する恐れがあります。



◆カウンター部について

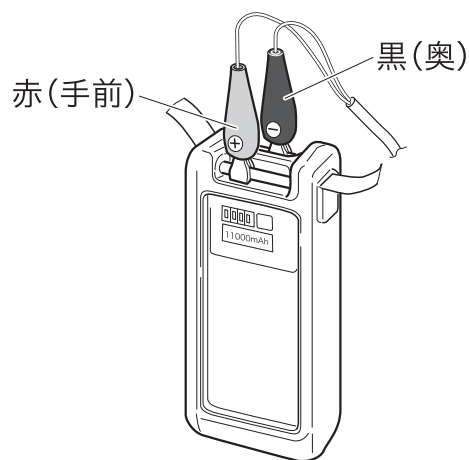
1. 偏光ガラスの使用
2. 真冬(カウンターの表面温度 -10°C 以下)および真夏(カウンターの表面温度 60°C 以上)
上記の場合には、液晶の特性上文字が見にくくなる場合がございます。ご了承ください。
3. 早朝や夕方など太陽光の入射角によって液晶表示の影が見えることがありますが異常ではありません。

電源について

●電源のつなぎ方

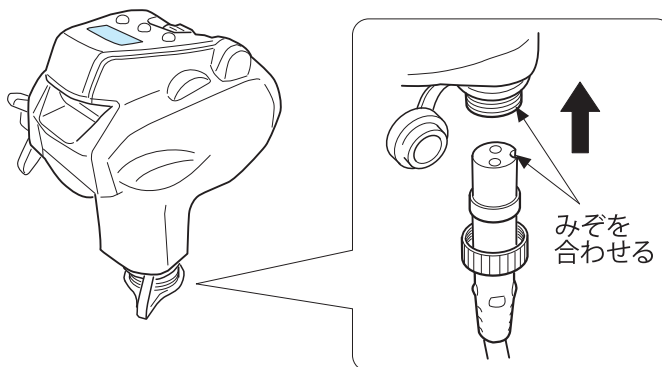
1.まず、コードのクリップ(2つ)と電源をつないでください。

クリップは赤いカバーのほうがプラス $+$ 、黒いカバーのほうがマイナス $-$ です。

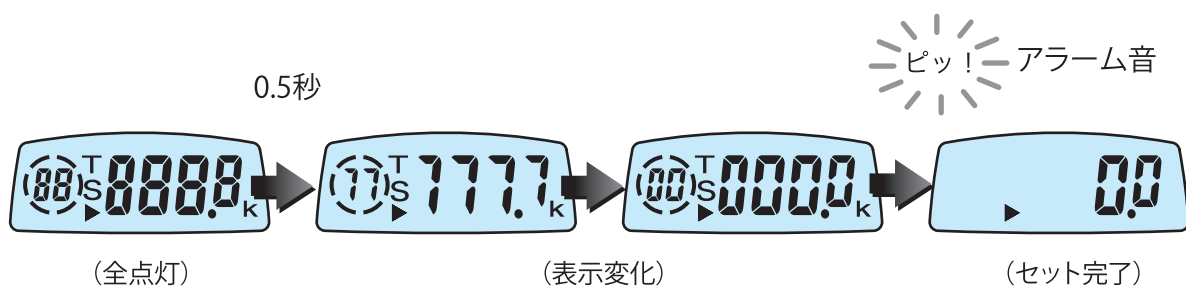


※図はスーパーリチウム11000

2.次に、付属コードのコンネクターとリール本体をつないでください。



※以上の手順が正しく行なわれると、下図のように表示変化したうえで、セットされます。



•1度電源につなぐと、メモリーバックアップ(カウンター情報の保存)機能が働くため(最低15分間)、その後の電源との再接続時には、上記の表示変化がされないでセットが完了するケースがありますが、問題はありません。

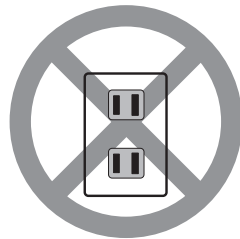
●電源について

このリールは直流(DC)12V対応の電動リールです。指定外の電源(たとえば、家庭用の交流(AC)100V、船装備の直流24Vなど)では使用できません。

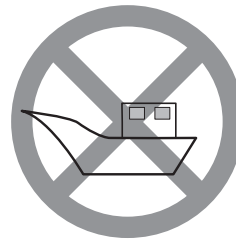
なお、船電源は、発電機や配線の関係で電圧が不安定になりやすく、リールの保護回路が働いて回転が停止したり、断続的になってしまうことがあります。

リールの性能を十分に発揮させるためにも、電動リール専用バッテリーをご使用ください。

100V



24V



•出発前によく確かめてください。

1.バッテリーは、長時間放置されると自然放電(残量低下)している可能性があります。釣行前には、必ず充電を行なってください。

2.船の電源は、電圧、接続端子の形状などにより使用できないことがあります。事前にご確認することをおすすめします。

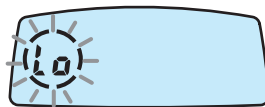
•端子のサビなどによりリールが正常に作動しない場合があります。サビなどは取り除いてご使用ください。

● バッテリーチェック表示について

通電時(巻上げ中または巻上げストップ時)に、電源電圧がDC9.9V以下になると、

Lo マークが点滅表示されます。

モーター回転がストップしているときにこの表示が点滅している場合、バッテリー残量の減少による電圧低下が考えられます。そのときには、バッテリーを充電したものと交換してください。(船電源をご使用の場合は、電源の電圧や端子をチェックしてください。)



※コードレスバッテリーBMには残量警告機能があります。残り容量約10%でリールの液晶表示に低電圧の電圧警告表示上図が表示されます。表示が出ましたら充電済のバッテリーに交換してください。電動巻上げ中は低電圧の警告表示ができないため、巻上げ状態が長く続くと残りの10%を使い切り、突然止まる可能性があります。バッテリーが切れた状態で、手巻きで糸を巻いてしまい(魚とのやりとり等で)次のバッテリーで電動巻上げした時に糸を巻込み、竿先を折る可能性がありますのでご注意ください。その際はリセット/水面ゼロ設定を再度行ってください。(詳しくはP.30参照)

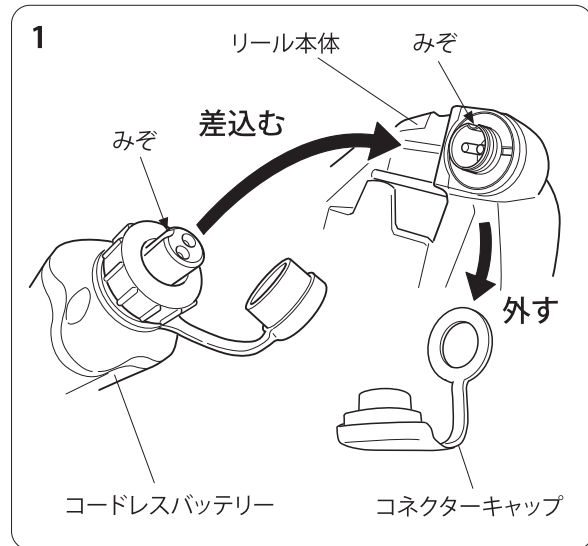
●コードレスバッテリー取付け方法

コードレスバッテリーの取付け方法をご説明します。バッテリーは釣行前にあらかじめ十分に充電してください。

1. リール本体のコンネクターキャップを外し、バッテリーと本体のみぞを合わせ差込みます。

⚠ 注意

- コンネクターキャップが残ったままバッテリーを取付けるとねじの締め付けが不完全なため、脱落の原因になりますので必ず、保護キャップは外してご使用ください。
- リールを洗う時や保管する際は、コンネクターキャップを装着してください。

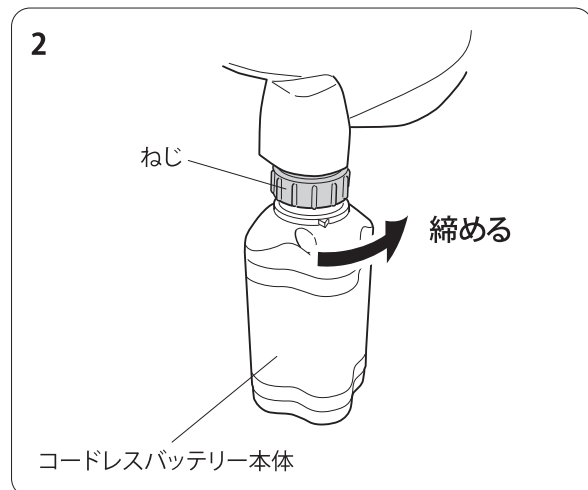


2. バッテリーのねじを締め付けます。

※ご使用の際は、ロッドホルダーや船べりにバッテリーが当たらないようロッドクランプの位置を調整してください。

⚠ 注意

- コードレスバッテリー本体を回さないでください。破損する場合があります。
- バッテリーの海中落下にご注意ください。
- コードレスバッテリー取扱等に関する詳細は、バッテリーの取扱説明書をお読みください。



お手入れ方法

●リールのお手入れについて

このリールは、水洗いできる「洗える電動リール」です。釣りが終わった後でコマセ汚れなどをきれいに洗い流してください。

●お手入れ方法

1. 柔らかいスポンジなどでリール本体を洗い、汚れを落とします。

※汚れがひどい場合に使う洗剤は中性洗剤のみを使用してください。

※使用量目安: 水1ℓに対して1.5ml

液体(薬用)石鹼など石鹼類及び弱アルカリ性など中性以外の洗剤のご使用はおやめください。故障の原因になることがあります。

2. 水をかけて洗剤と汚れをよく落としてください。スプール部にもよく水をかけて塩分を落としてください。

給湯器をご使用の際は、温度設定を30℃以下としてください。

3. よく水を切り、陰干してください。

※保管の際は、ドラグを緩めてください。
※ハンドルノブ内部には水がたまりやすいため、特に注意して水切りをしてください。

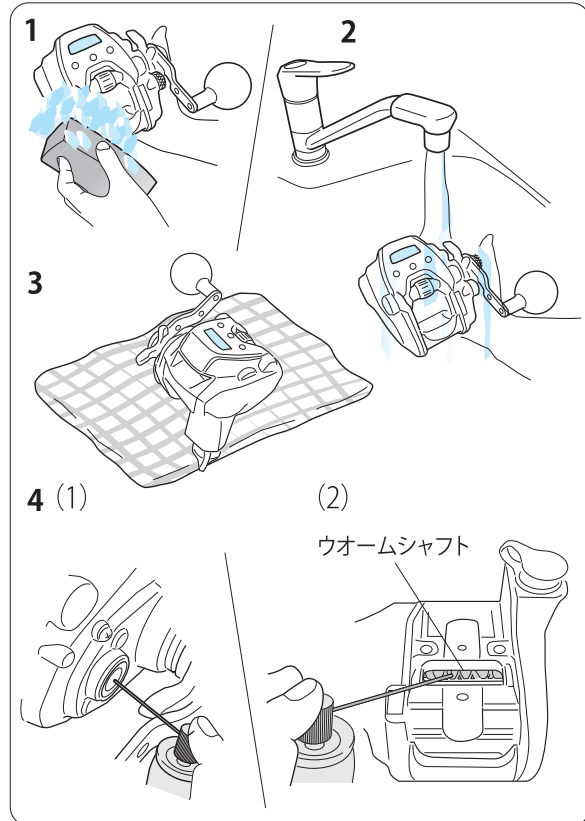
4. 注油してください。

(1) 注入口はありません。スプール調整ダイヤルを外し、注油してください。注入量が多すぎるとオイルが流れ出ることがありますのでご注意ください。

※REVボールベアリング用オイル以外は、絶対に注油しないでください。リールの性能が発揮されません。

専用スプレーは釣具店にてお取り寄せください。

商品コード: 04980059



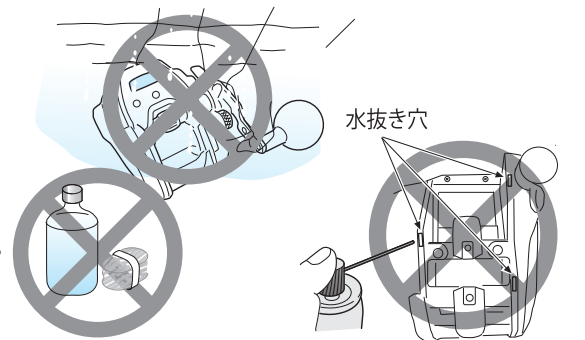
(2) ウォームシャフト部へシュッとひと吹き注油します。

※推奨グリス: 純正リールガードグリス (商品コード: 04980020)

専用スプレーは釣具店にてお取り寄せください。

⚠ 注意

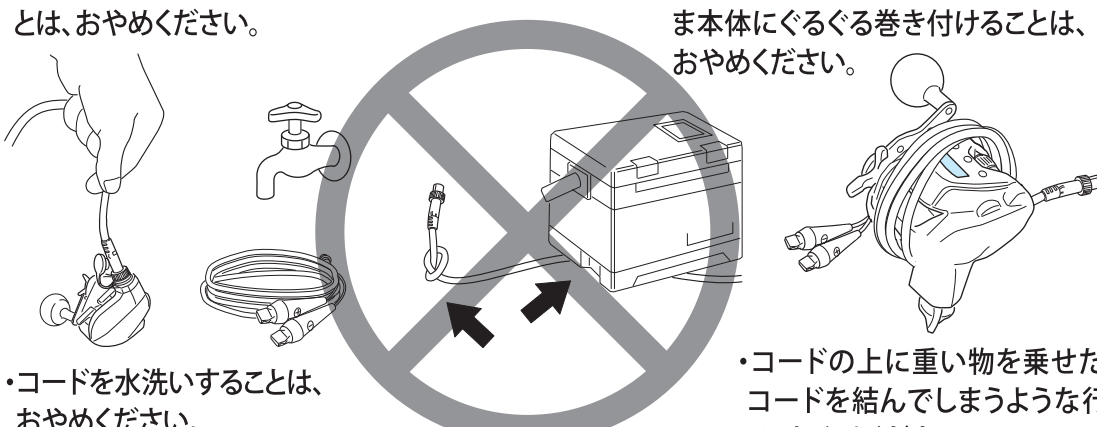
- 海水で洗ったり水の中につけて洗うことは絶対にしないでください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- リール本体に傷が付きますので、みがき粉、タワシ、スチールタワシなどは絶対に使用しないでください。
- 注油したオイルがはね返り噴き出す可能性もありますので、のぞき込まないでください。
- 水抜き穴への注油は厳禁です。
- 本体に磁力を近づけないでください。



●コード取扱い上のご注意

コードの断線等によるトラブルをさけるために必ず守ってください。
※コードを改造することはおやめください。思わぬ故障の原因となります。
コードは大切にしてください。

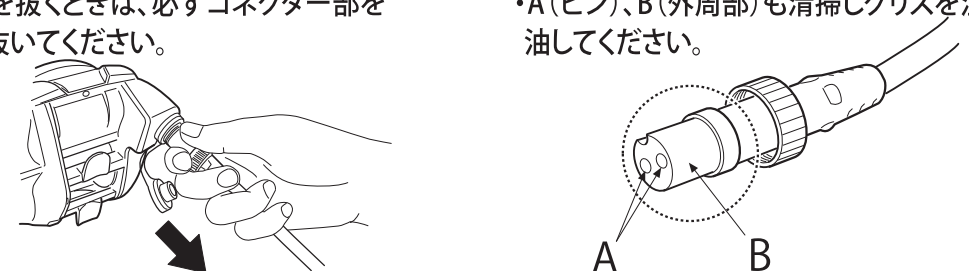
- コードを持ってリールをぶらさげるとは、おやめください。
- リール本体にコードを差し込んだまま本体にぐるぐる巻き付けることは、おやめください。
- コードを水洗いすることは、おやめください。
- コードの上に重い物を乗せたり、コードを結んでしまうような行為は、おやめください。



●コードのお手入れのしかた

- ご使用後は、水道水または温湯で浸した柔らかい布で、外観部の汚れを拭き取り、よく乾かしてください。
- 特に、ワニグチクリップは、カバーを外して、完全に乾かしてください。
- 乾燥後は、コネクタ部の注油を行なってください。
- リールのコードは、本体から外して保管してください。

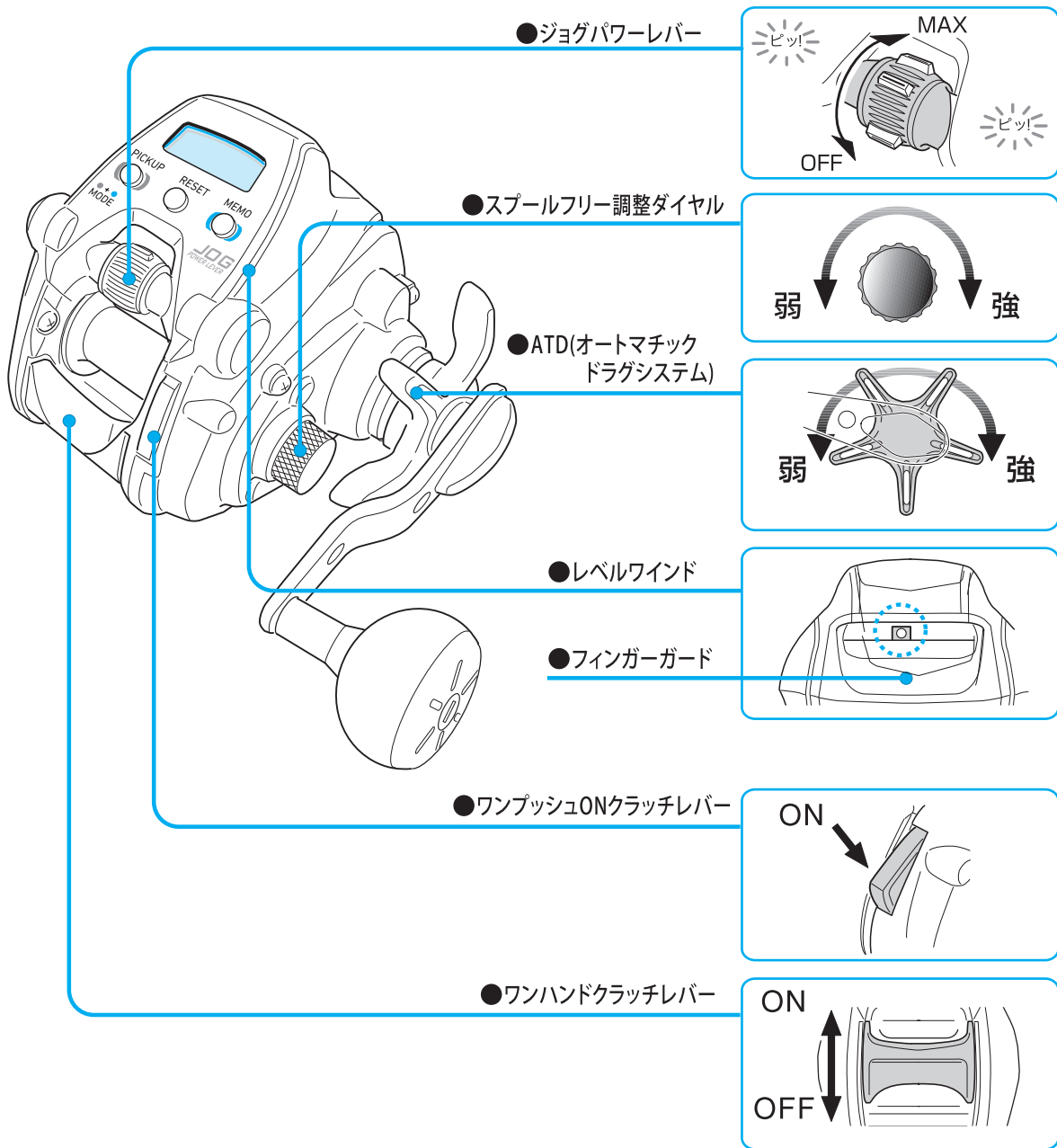
- コードを抜くときは、必ずコネクタ部を持って抜いてください。
- A(ピン)、B(外周部)も清掃しグリスを注油してください。



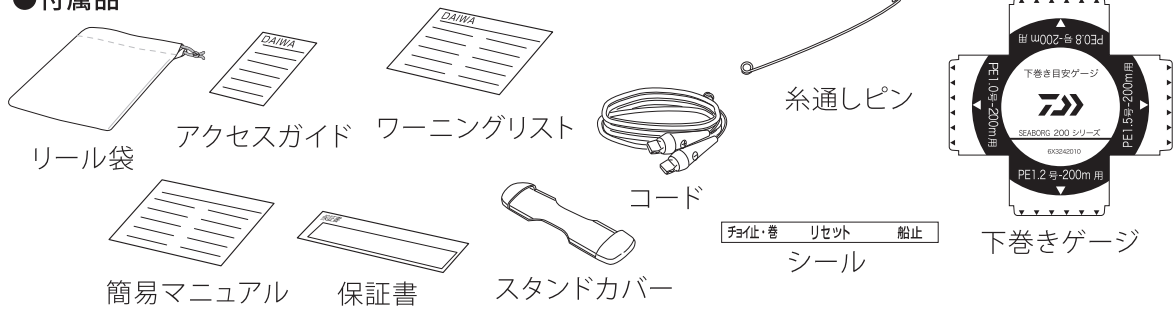
●その他お手入れ上のご注意

- このリールは電気回路、モーターなどの精密な部品を内蔵しておりますので、お客さまご自身での分解組み立ては極めて困難です。おやめください。
- コネクタ部保護のため、リールをご使用にならないときは防護用コネクタキャップでフタをしてください。
- 古いコードは断線、ショート等故障の原因となりますので、リールの性能を維持するためにも、2年での交換をおすすめ致します。

各部の名称と機能



●付属品



●ジョグパワーレバー

- レバー操作により巻上げパワー（スピード）をON/OFF～MAXまで自由自在に変速させることができます。
- レバーを前（左図MAX側）に倒すと、パワー（スピード）アップします。（巻き上げ速度、増加）
レバーを元（左図OFF側）に戻せば、パワー（スピード）ダウンします。（巻き上げ速度、減少）
- 巻上げを開始するとき、パワーレバーがOFFの位置にないときは、レバーを一度OFFの位置まで戻して（OFFの位置でアラームが鳴ります）から、レバーを前に倒して巻上げを開始してください。
- 船べり停止位置付近では、安全のためパワーレバー操作がきかない場合があります。
- 巻き上げ負荷の変動等で、ジョグパワーレバーの設定表示が上下する時がありますが、異常ではありません。

●ATD(オートマチックドラグシステム)

※ドラグノブクリック付き

- スタードラグの締め付けを調節することにより、魚の急激な引きに対応し、スプールが空転して糸切れを防ぐ機構です。
1. リールをロッドにセットし、ラインをロッドのガイドに通してから調節してください。
 2. クラッチONの状態、手で糸を引き出しながらドラグの締め付けを調節します。通常は、糸（ハリス）が切れる寸前にスプールが空転するように調節します。

●ワンプッシュONクラッチレバー

- クラッチOFFの時、レバーを押すとクラッチがONになります。
- ロッドを持っている手で素早くクラッチがONできます。

●スプールのフリー調整ダイヤル

- バックラッシュ（糸フケによるパーマ）を防止するブレーキシステムです。船の揺れや仕掛けの重さなどにより、締め付けぐあいを調節してください。

●レベルワインド

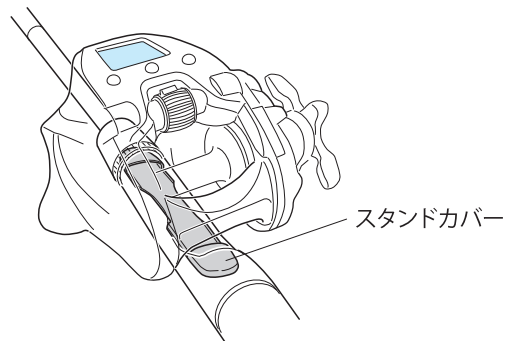
- ガイドに糸を通します。糸がスプールに平行に巻けます。
- ※糸を巻く際の条件により、スプールへの糸巻き状態に若干の片寄りが見られる場合があります。

●ワンハンドクラッチレバー

- 親指で軽く下に押すだけでクラッチが切れます。
- ◆ONの時→ ハンドルを回すと糸が巻き取れます。
 - ◆OFFの時→ スプールがフリーになります。
ハンドルを正転方向に回せばクラッチONになります。

●付属品

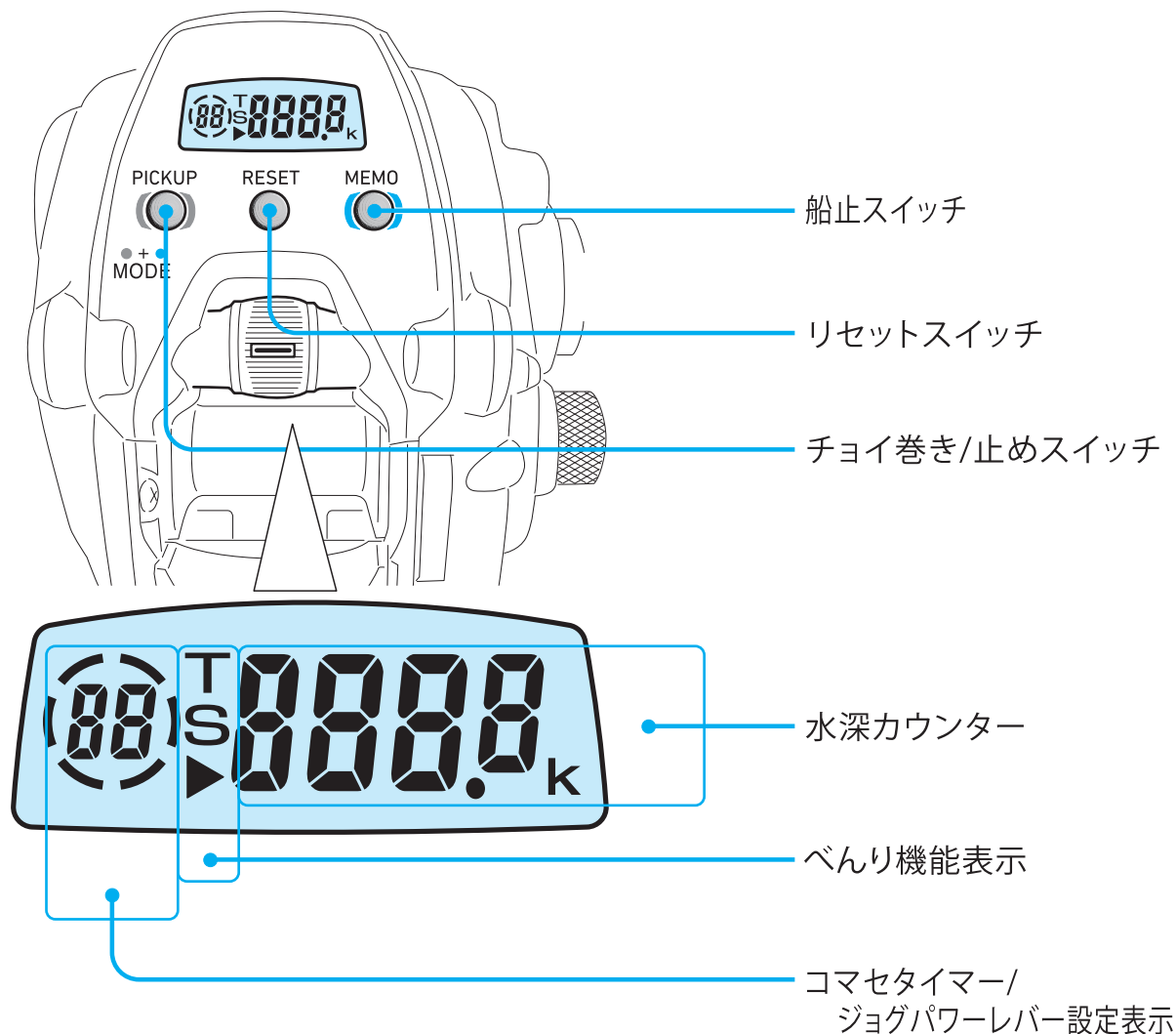
- コード・簡易マニュアル・シール・ワーニングリスト
 - リール袋・保証書・下巻きゲージ・アクセスガイド
 - 糸通しピン
- レベルワインドに糸を通すときに使います。（糸通しピンは、付属品としてビニール袋に、リール袋と一緒に入っています）
- スタンドカバー
- リール・ロッドへの傷付き防止及びリールシートとのがたつき防止としてお使いください。



⚠ 注意

- ※スタンドカバーを付けるとロッドによっては、リールが付かない場合があります。
- ※取付部が回転するロッドでは、スタンドカバーが破れる場合があります。
- ※リールシートを強く締め込み過ぎるとスタンドカバーが変形し、スプールに接触してスプールのフリー（仕掛け落下）が悪くなる恐れがあります。

スイッチの名称と働き



●RESET (リセット)

RESET スイッチを押すと、上のカウンター (水深カウンター) が 0.0 m になります。

また、コマセタイマーがリセットされます。

※釣りを始める前に、RESET スイッチを必ず 1度押してください。スイッチを押した点を基準に、船べり自動停止位置が設定されます。(画面に S (船止) の表示が出ます。)

船べり自動停止の初期設定は、2.0 m にしてあります。P.30「水面ゼロ設定」

・糸切れした場合のデータ修正以外は、カウンター誤差の原因になりますので

RESET スイッチの長押しはしないでください。

●MEMO (船止)

MEMO スイッチを2秒押すと、船べり停止が設定されます。(P.31参照)

コマセタイマーは、このスイッチを押すと再スタートします。

●PICKUP(チョイ止・チョイ巻き)

モード設定で、チョイ止・チョイ巻きどちらかの選択ができます。

・チョイ巻き

- ・ **PICKUP** スイッチを押している間、電動で巻き上げることができますので、糸ふけを取る時や、誘いをする時などに便利です。
- ・巻き上げの速さは、モードを開いて0～Hiまで変えることもできます。

※巻き上げ速度を0にした場合は、スイッチを押しても巻き上げしません。

※船べり停止位置+3mからは、安全のためスイッチを押しても作動しません。

・チョイ止め

- ・電動巻き上げしている時、**PICKUP** スイッチを押している間だけ電動巻き上げを止めることができます。

●MODE(モード)

- MEMO スイッチと**PICKUP** スイッチを同時に2秒押すと、各種便利機能の「設定画面」になります。
- ・一度設定すれば、次回の釣行もその設定のまま使用できます。
- ・数値および機能のON/OFFの設定はすべてパワーレバーで行います。
- ・数値の入力が終わったら、**PICKUP** スイッチを押して、次のモードに移った段階でセット完了です。
- ・ **PICKUP** スイッチを押すごとに、画面が「コマ送り」になります。
- ・ **PICKUP** スイッチを押し続けると「早送り」になり、「水深」画面に戻ります。

●モード設定機能表示

- ・便利機能の設定画面を表示します。
- ・セットして作動する機能は、表示が点灯(点滅)します。

S が点灯→ **RESET** スイッチを押すと点灯します。(水面ゼロ設定をしないと、船べり5.0mで船べり停止します。)

▶ が点灯→ **PICKUP** スイッチを押している間、電動で巻き上げることができます。(チョイ巻)

T が点灯→ コマセタイマー巻き上げが作動します。(タイマー)

Lo が点滅→ 電源電圧が低下した時、点滅します。

●水深カウンター

- ・上(海面)からの水深を表示します。

●コマセタイマー

- ・モーター回転ストップ時、仕掛け投入時間(コマセタイマー)を表示します。
- ・パワーレバーの操作中は、パワーレバー設定状態を表示します。(1～Hiまで)

道糸入力方法「棚センサーブライト編」

P0 指定入力

指定入力とは当社棚センサーブライトまたはナイロン糸を巻かれるときに、次ページに記載の糸種・号数・巻き糸量の中から選択してセットするだけでデータが入力できる便利な方法です。
(タナセンサーブライト3号200mを巻いて入力することを例にしてご説明します。)

やけどに注意!

道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。

1.道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

※付属の糸通しピン(P.14参照)を使うと簡単に通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

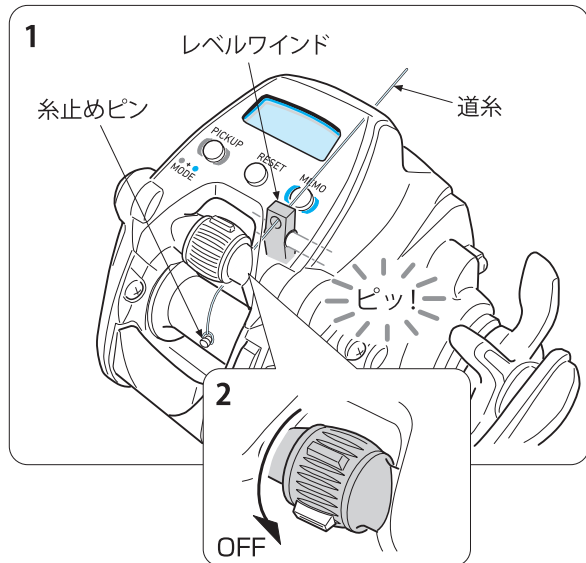
※ドラッグを締め付けてください。

2.ジョグパワーレバーをOFFまで戻します。

3.リールを通电させ、ジョグパワーレバーをMAXの位置まで倒し最後まで道糸を巻いてください。

※接続方法についてはP.8「電源とのつなぎ方」を参照ください。

※道糸は約1kgのテンションで巻いてください。



注意

・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。

糸があたらないようにご注意ください。

・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。ジョグパワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

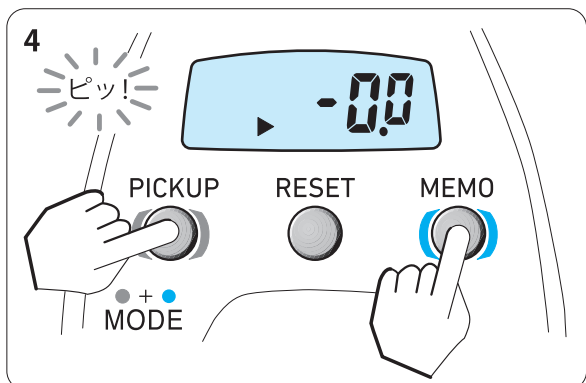
(※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

4.表示が **-0.0** のときに

MEMO (船止) スイッチと

PICKUP (チョイ止・巻) スイッチ

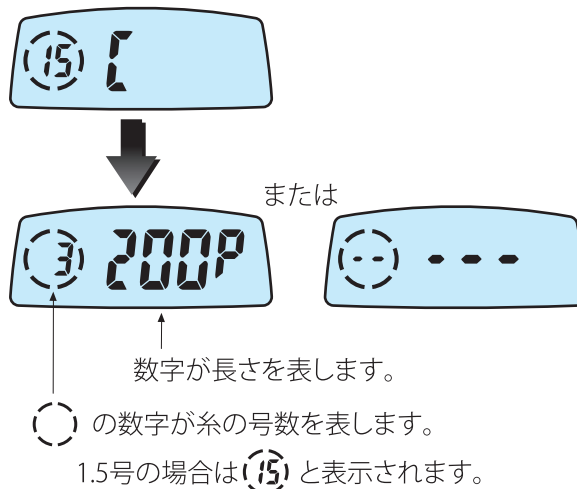
を同時に6秒間押し続けてください。



※およそ2秒後にチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けてください。

5.初期設定PE3号－200mの画面になります。

※ここで一旦スイッチを離してください。



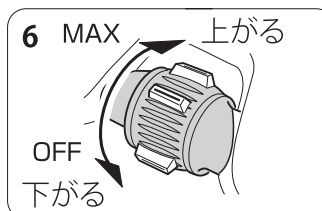
6.ジョグパワーレバーで、ご使用になる糸と巻き量の組合せを選択してください。

- ・レバーを前に倒すと数値が上がります。
- ・レバーを元に戻すと数値が下がります。

下表はデータ一覧表を示します。

選択可能なデータ一覧表

PE (右の表示がPの場合) (m)		ナイロン (右の表示がLの場合) (m)	
1.5号	450	3号	250
2号	300	4号	170
3号	200	5号	140
4号	170		



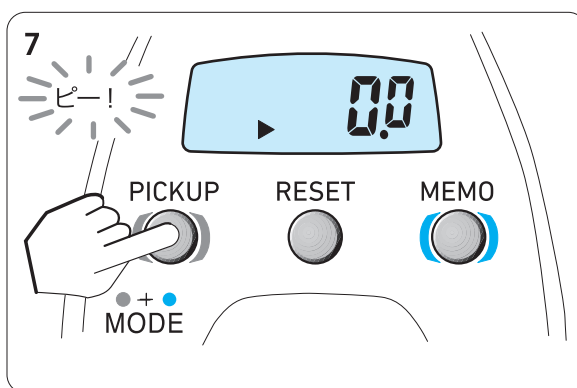
※図の場合ではPE3号200mのデータがセットされます。

7.ジョグパワーレバーで数値が選択できたら、PICKUP (チョイ止巻) スイッチを押して完了です。

アラーム音が鳴り、表示 0.0 の点滅が終われば完了です。

便利

※シーボーク200Jには、あらかじめ棚センサーブライツ3号－200mのデータが入力されています。棚センサーブライツ3号－200mを巻く場合は、データのインプットは不要です。



道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」

P1 糸長入力

リールに巻く糸の長さがわかっている時の便利な方法です。
(PE3号200mを巻いて入力することを例にしてご説明します。)

やけどに注意!

道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。

1. 道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

※付属の糸通しピン(P.14参照)を使うと簡単に通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

※ドラグを締め付けてください。

2. ジョグパワーレバーをOFFまで戻します。

3. リールを通电させてください。

4. 表示が **0.0** のときに

MEMO (船止) スイッチと

PICKUP (チョイ止巻) スイッチ

を同時に6秒間押し続けてください。

※およそ2秒後にチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けてください。

5. 初期設定PE3号200mの画面になります。

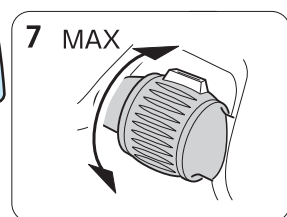
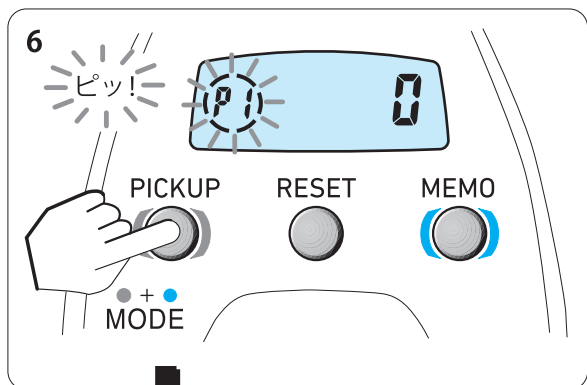
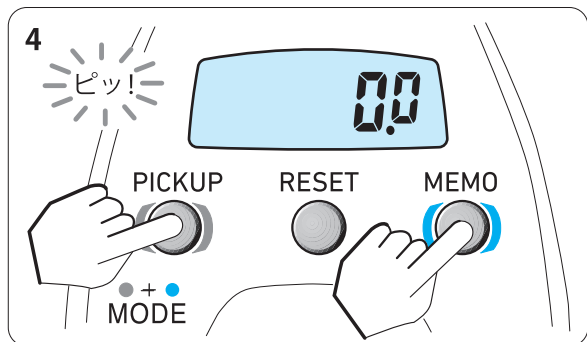
※ここで一旦スイッチを離してください。

6. **PICKUP (チョイ止巻)** スイッチを1回押して糸長入力画面にします。

(**P1** が点滅します)

7. テンションを調整して、ジョグパワーレバーをMAXの位置まで倒し道糸を巻きます。

※パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整してください。

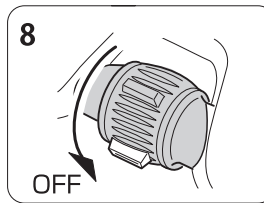


!
注意

- フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
- 屋内で低速・高テンションで長時間（※1）かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。ジョグパワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますので心配ございません。

10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

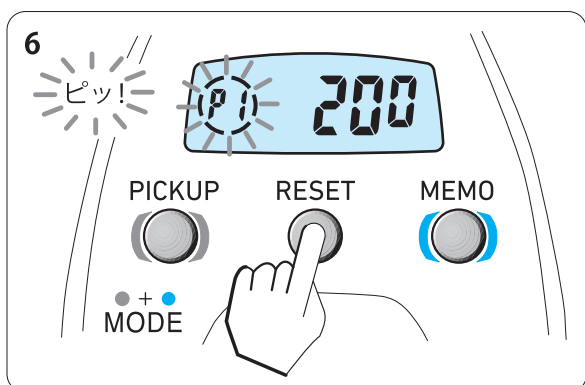
8. 巻き終わったらジョグパワーレバーをOFF位置まで戻します。(アラーム音)



!
注意

- 糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- この入力方法はPE0.8号未満の細糸は入力することができません。
- PE0.8号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

9. **RESET** (リセット) スイッチを2秒以上、表示が **200** mになるまで押してください。
(200は初期設定値です。)



道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」

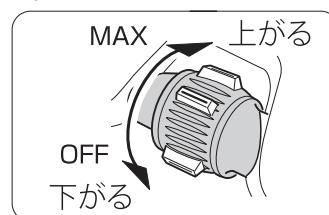
P1 糸長入力

10. ジョグパワーレバーで、道糸の長さをセッします。

(図は、200mにセッした場合です。)
(セッする数値は、10m単位です。)

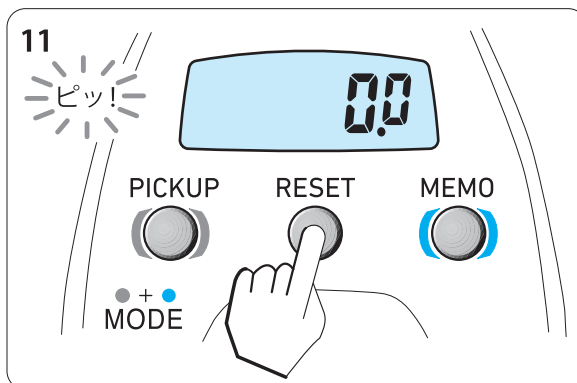


10



11. **RESET** (リセッ) スイッを2秒以上押してください。アラーム音が鳴り、表示 **0.0** の点滅が終われば完了です。

※ **Err** になった場合は、**PICKUP** (チョイ止巻) スイッを押して始めから再度入力又は、引出し入力(P26,27)をしてください。



道糸入力方法「下巻き入力」

P2 下巻き入力

ただし、長さのわかる道糸が100m以上必要です。

やけどに注意!

道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。

1. 下巻用の糸をレベルwindに通してスプールに結び、通電させてください。

- ※付属の糸通しピン(P.14参照)を使うと簡単に通せます。
- ※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。
- ※ドラグを締め付けてください。

2. 下巻用の糸を巻きます。

- ※ジョグパワーレバーがOFFの位置にない場合は、一度OFF位置(手前)に戻してから出力してください。
- ※付属の下巻きゲージを使い下巻糸の量を調整してください。

3. 上糸をしっかり結びます。

4. 表示が **0.0** のときに

MEMO (船止) スイッチと

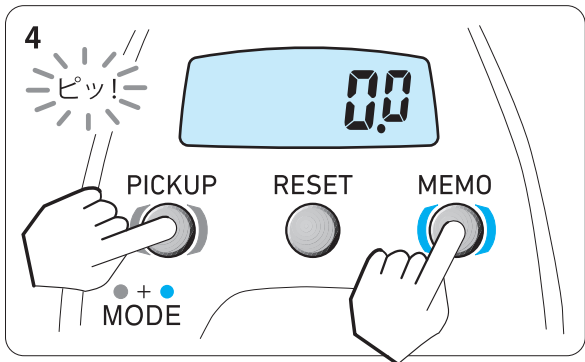
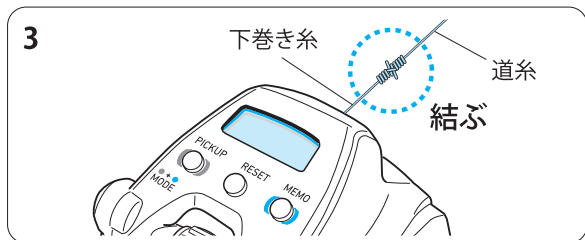
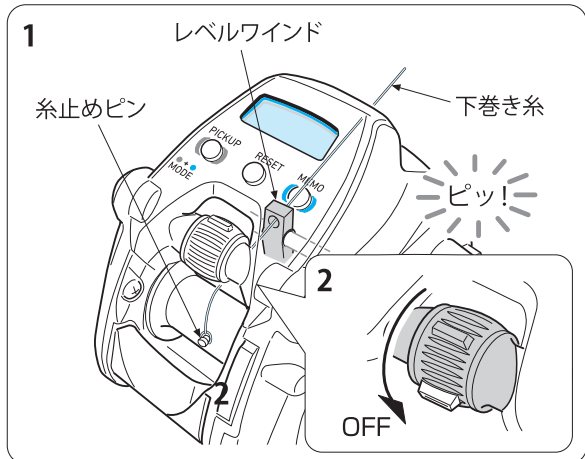
PICKUP (チョイ止巻) スイッチ

を同時に6秒間押し続けてください。

※およそ2秒後にチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になります。

※ここで一旦スイッチを離してください。

次にもう一度 **PICKUP (チョイ止巻)** スイッチを押すと **P1** が点滅します。



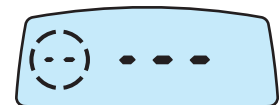
PICKUP (チョイ止巻) スイッチ



(糸長入力画面)



または



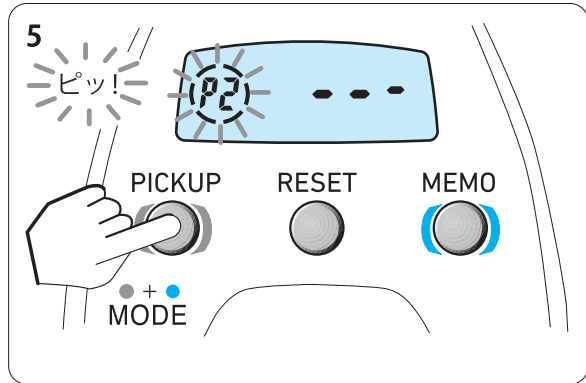
道糸入力方法「下巻き入力」

P2 下巻き入力

5. 糸長入力画面になったらもう一度

PICKUP (チョイ止巻) スイッチ を
押して下巻き入力画面にしてください。

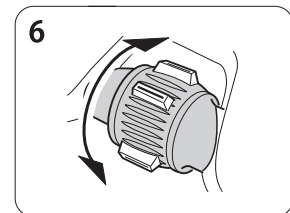
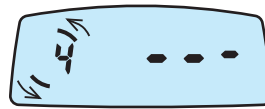
P2 が点滅します。



6. テンションをかけて糸色に注意しながら残り100mになるまで道糸を巻いてください。

糸を巻き取り始めると P2 のまわりの枠が回転します。

ジョグパワーレバーを倒すと P2 がテンション表示に変わりますので4~5になるようにテンションを調整してください。



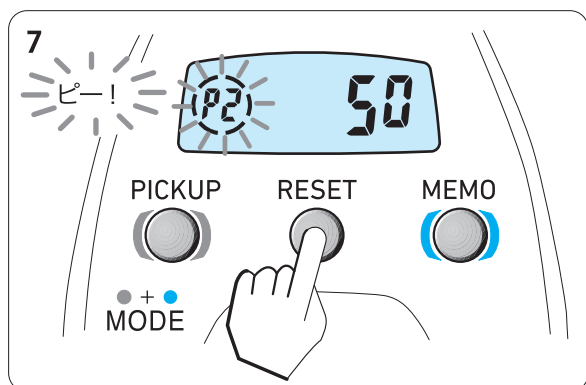
注意

- ・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。ジョグパワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

(※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

7. RESET (リセット) スイッチ
を2秒以上押してください。

P2 が点滅し、カウンターが 50 になります。

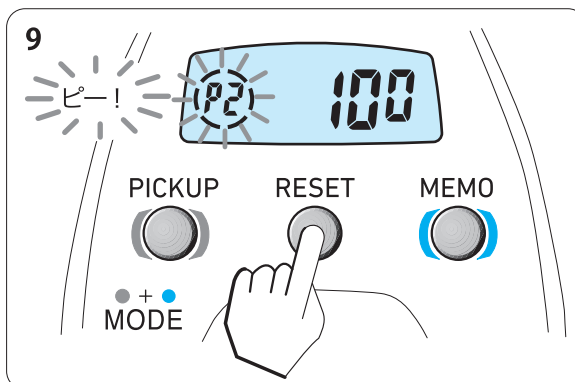


8. テンションをかけて糸色に注意しながら50m道糸を巻いてください。

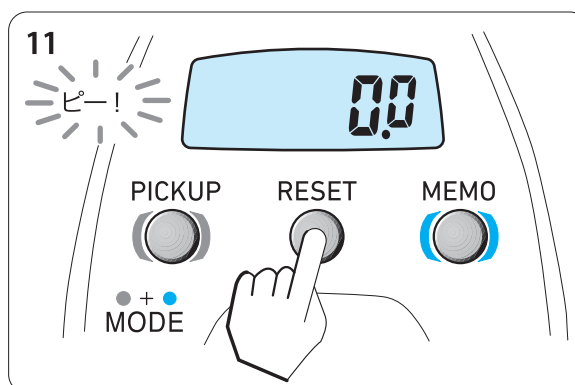
9. **RESET**(リセット) スイッチ
を2秒以上押してください。

P2 が点滅し、カウンターが **100**
になります。

10. テンションをかけて糸色に注意しながら
残りの50mを巻いてください。



11. **RESET**(リセット) スイッチ
を2秒以上押して表示 **0.0** の点滅が
終われば完了です。



- 糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- PE0.8号未満の細糸は入力することができません。
- PE0.8号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

- ※ **Err** になった場合は、
PICKUP (チョイ止巻) スイッチ
を押して始めから再度入力又は、引出し入
力(P26,27)をしてください。

道糸入力方法「引出し入力」

P3 引出し入力

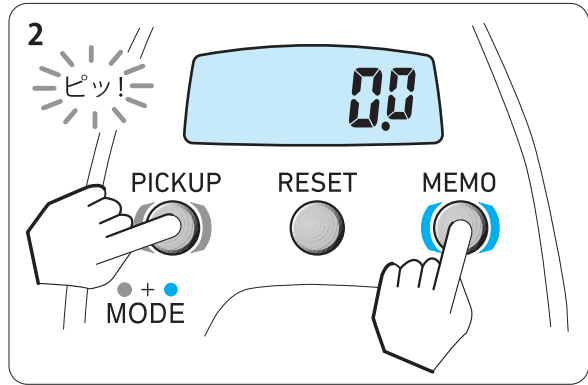
道糸を巻き終わった状態から引き出して再入力するための方法です。ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

1. 通電させてください。

2. MEMO (船止) スイッチと
PICK UP (チョイ止巻) スイッチ
を同時に6秒間押し続けてください。

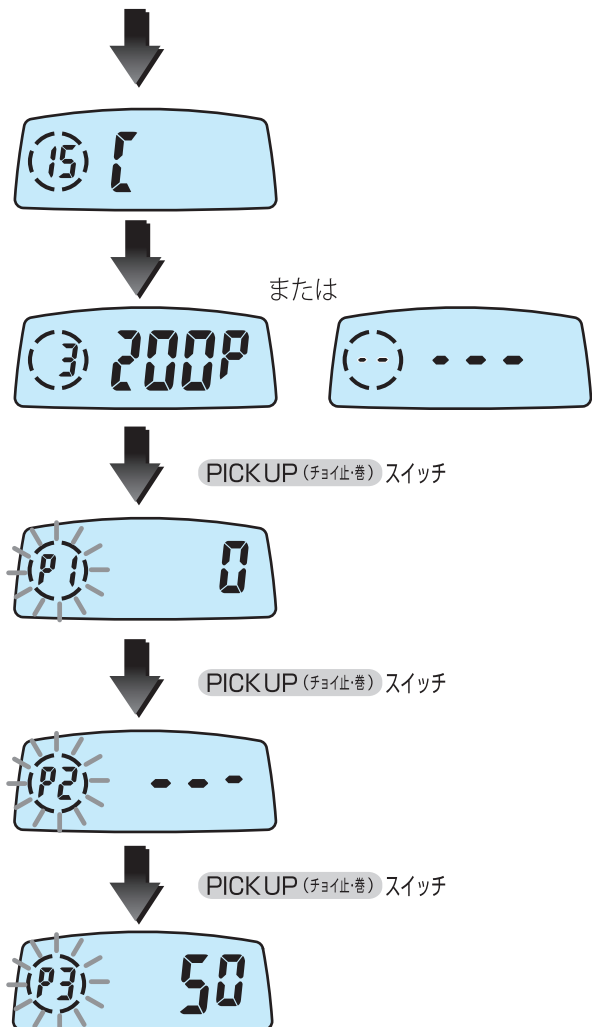
※チョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になります。

※ここで一旦スイッチを離してください。



3. さらに PICK UP (チョイ止巻) スイッチ
を3回押して、引出し入力画面にしてください。

※ P3 が点滅し、下のカウンターに 50
と表示されます。



4. 糸のマークに注意しながら、50m引き出します。

5. **RESET** (リセット) スイッチを2秒以上押してください。

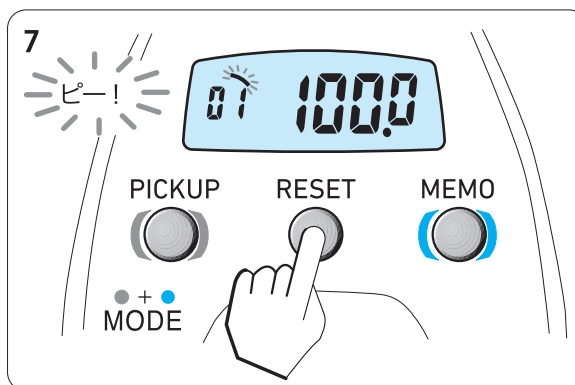
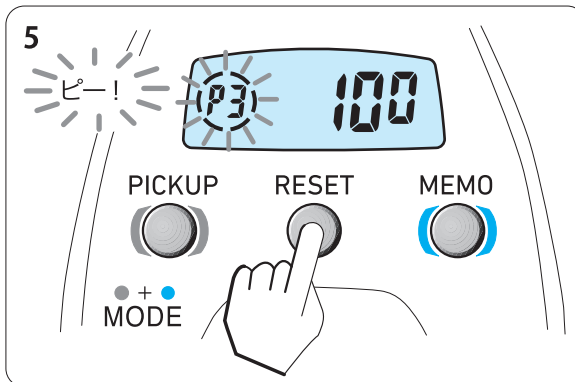
数字が **100** になります。

6. 糸のマークに注意しながらさらに50m引き出してください。

7. **RESET** (リセット) スイッチを2秒以上押してください。

数字が **100.0** になります。

8. 引き出した糸を100m巻き取り完了です。



- 糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- PE0.8号未満の細糸は入力することができません。
- PE0.8号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

※ **Err** になった場合は、**PICKUP** (チョイ止巻) スイッチを押して始めから再度入力をしてください。

機能設定の基本操作「1.モード画面の使い方」

●便利機能の設定のしかた

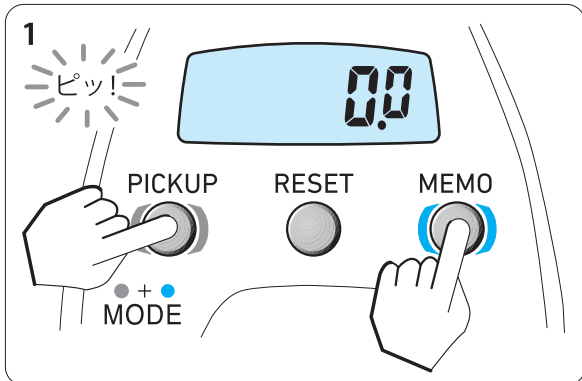
- モードの中には便利な機能が満載されています。
- 設定画面でジョグパワーレバーを操作して数値および機能のON/OFFを選択し、**PICKUP (チョイ止巻)** スイッチを押して次の画面にすればセット完了です。
- ※セットした機能は、次の釣行もメモリーされています。
(モード設定直後に電源を切った場合、メモリーされない場合があります。)

1. MEMO (船止) スイッチと

PICKUP (チョイ止巻) スイッチ

を同時に2秒間押し続けてください。

- ※誤操作防止のため、2秒押しとなっています。
(チョイ巻き画面になります。)

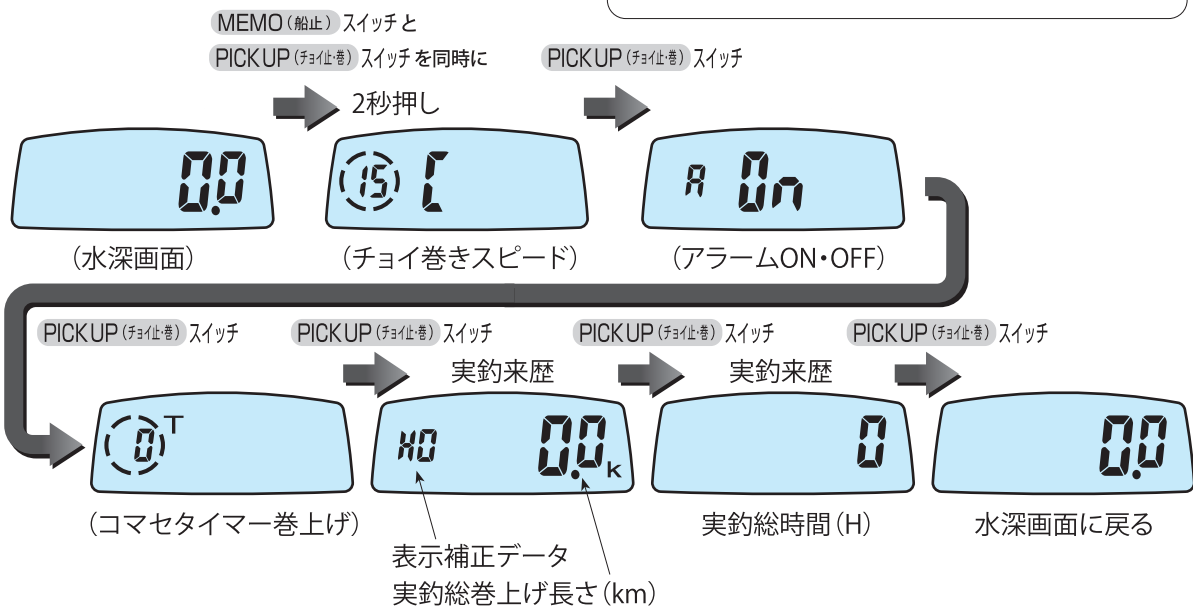
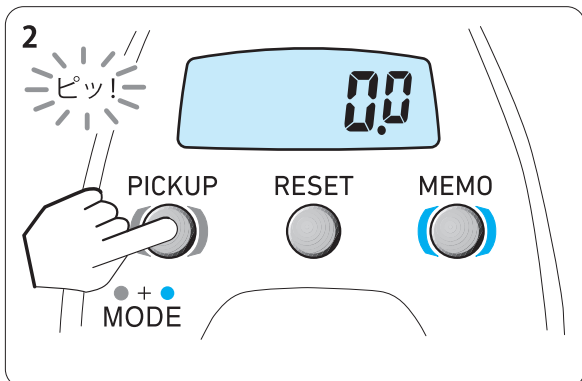


2. PICKUP (チョイ止巻) スイッチ

を押し、セットする画面を選びます。

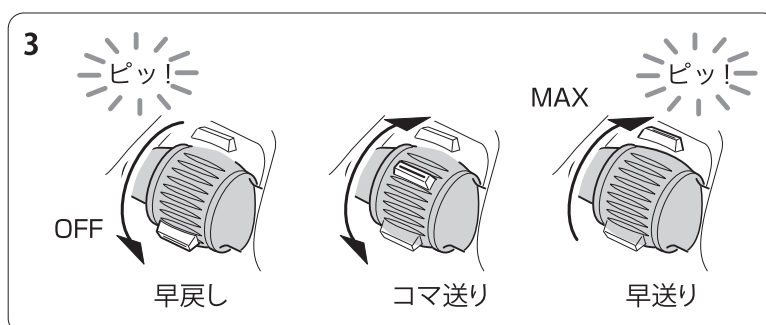
PICKUP (チョイ止巻) スイッチを押すたびに、設定できる機能の表示が変わります。

- ※ **PICKUP (チョイ止巻)** スイッチ を押し続けると、画面が早送りされ水深画面に戻ります。
- ※モード画面で、設定値を変更しても、各画面で **RESET (リセット)** スイッチ を押せば、初期設定に戻ります。



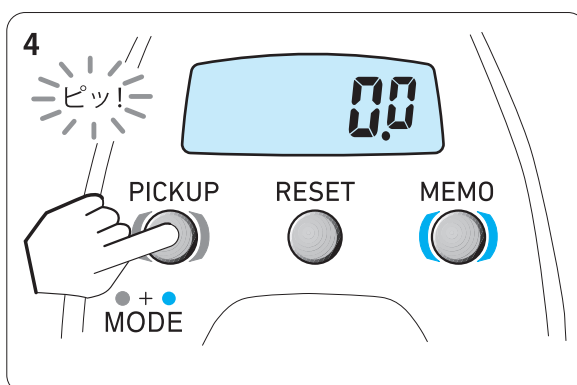
3. ジョグパワーレバーで各機能のON/OFFや数値を選択します。

- ジョグパワーレバー「MAX」は数値の早送り、「OFF」は数値の早戻しになります。
- ジョグパワーレバーの「MAX」と「OFF」の間は数値のコマ送りになります。
- ジョグパワーレバー操作で「ON」と「OFF」が交互に現われます。



4. PICKUP (チョイ止・巻) スイッチ を押し、次の画面に移ったらセット完了です。

- PICKUP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ を押し続けると、画面が 早送りされ水深画面に戻ります。
- 水深画面に戻して、釣りを始めてください。
 - 設定画面のときに **RESET (リセット)** スイッチ を押し、初期設定値に戻ります。
(実釣来歴は除きます。)



注意

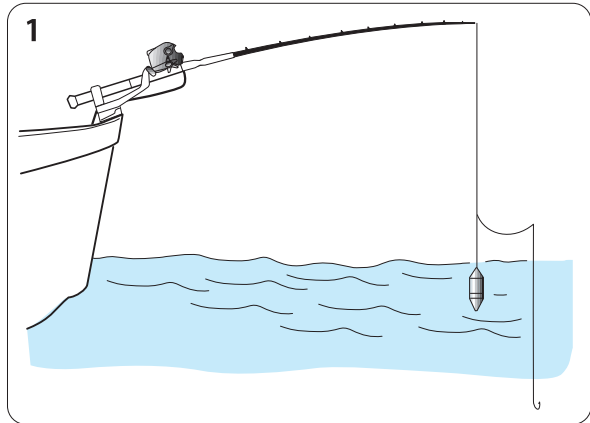
- このリールは構造上、従来の電動糸送りは効きません。
仕掛け落下時、ジョグパワーレバーを操作しても、糸を出す補助にはなりませんし、モーター過熱によるトラブルを招く恐れがありますのでおやめください。
- 仕掛け落下中に、ジョグパワーレバーを操作してモーター回転をONの状態でもクラッチをONしますと、クラッチ故障の原因になります。必ずモーター回転をOFFにした状態でクラッチをONにしてください。

機能設定の基本操作「2.釣りを始める前に」

●水面ゼロ設定

釣りを始める前に必ず行ってください。

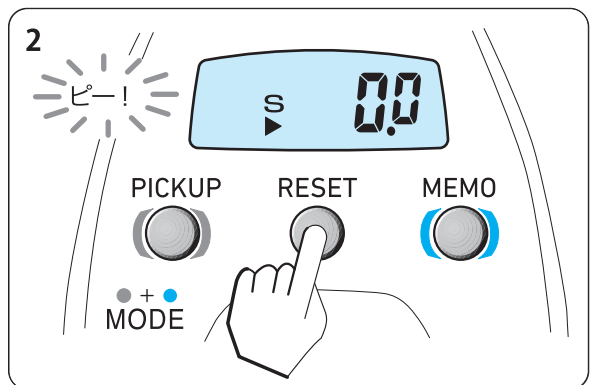
1.コードをつなぎ、糸を出し、仕掛けをセットします。



2.竿を出し、仕掛けが水面にある時に

RESET (リセット) スイッチ
を押します。

表示が **0.0** mになり **S** (船止) が点灯し
セット完了です。



・新しい糸を巻いたときや、大物を掛けたときは糸の伸びにより船べり停止位置がずれることがあります。そのときは再度水面ゼロ設定を行なってください。

●道糸が切れてしまったら

- ・道糸が切れてしまった場合、糸切れ修正を行なってください。
- ・切れたライン分のラインデータを修正します。通電状態のまま竿先まで巻き上げ、**RESET (リセット) スイッチ** を2秒以上押してください。表示が **0.0** になれば完了です。
- ※上記の作業によってラインデータが上書き(修正)されます。
- ※糸切れした場合のデータ修正以外は、カウンター誤差の原因になりますので、**RESET (リセット) スイッチ** の長押しはしないでください。

機能設定の基本操作「3.えらべる船べり自動停止」

●えらべる船べり自動停止

船べり停止位置が思いのまま、さらに手返しラクラク。

- えらべる船べり自動停止は、**RESET(リセット)** スイッチを押した位置より1m~5mの範囲内で船べり停止位置を任意に選んでセットすることができます。(10cm単位)
特にコマセ釣りの場合は、船べり停止し、ロッドを立てればビシが手元にくるよう、えらべる船べり自動停止位置をセットすれば手返しに大変便利です。
- 糸ののびにより船べり自動停止位置が下にズれてくるように感じる場合があります。そのときは、再度、水面ゼロ設定をやり直してください。
- 船べり停止位置付近では、安全のためジョグパワーレバーでの操作がきかない場合があります。

1.リールを通电し、水面に仕掛けがある時に **RESET(リセット)** スイッチを押します。(水面ゼロ設定)

表示が **0.0** mになります。

2.ロッドを立てて、仕掛けの取りやすい位置や、取り込みのしやすい位置まで糸を出します。

図の場合は1.5m

便利

コマセ釣りの場合
•竿を立てたときビシがちょうど手元にくるように設定すれば、手返しに大変便利です。

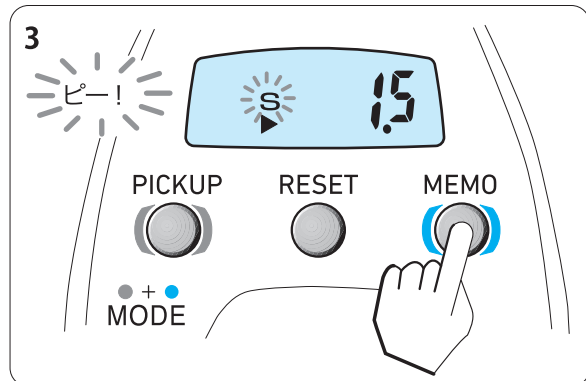
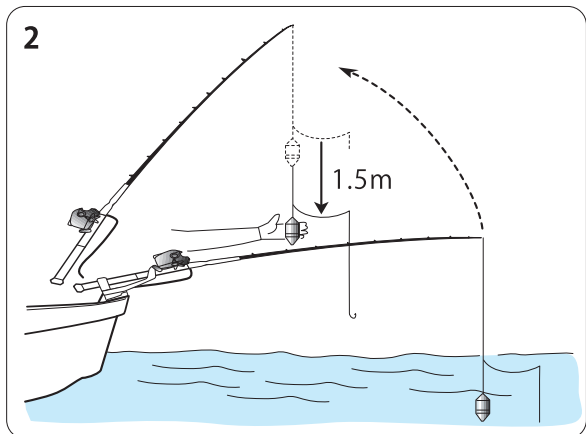
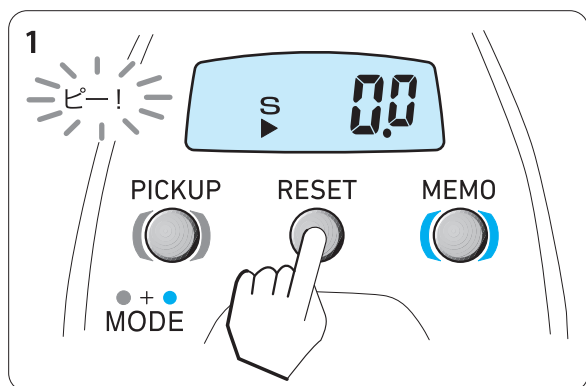
3.その位置で **MEMO(船止)** スイッチを約2秒間押し続けます。

S (船止) が点滅すれば、セット完了です。

※船べり自動停止の初期設定は2.0mです。
(**RESET(リセット)** スイッチを押さない場合は、5.0mで止まります。)

※設定が完了すると、**S** (船止) ランプが点滅します。

4.仕掛けを回収する時は、設定値で自動で電動巻上げを停止しますので、ロッドを立てれば仕掛けが手元に来ます。



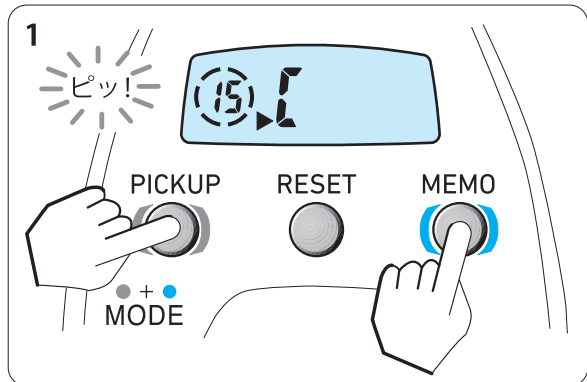
機能設定の基本操作「4.チョイ巻きスピード設定方法」

●チョイ巻き

PICKUP (チョイ止巻) スイッチ を押している間だけ電動リールに巻取りをさせることができる便利な機能です。チョイ巻きの速さは初期設定では15ですが、モード画面で変更することができます。(1～Hiまで設定可能です。)

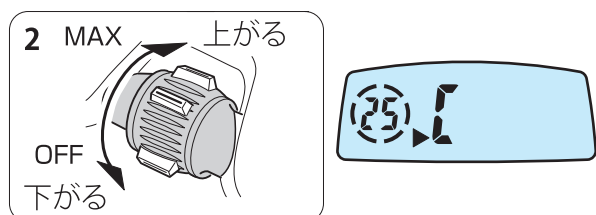
●チョイ巻きスピード設定方法

1. MEMO (船止) スイッチと PICKUP (チョイ止巻) スイッチ を同時に2秒間押してモード画面にして「チョイ巻」画面にしてください。



2. ジョグパワーレバーでスピードを設定します。

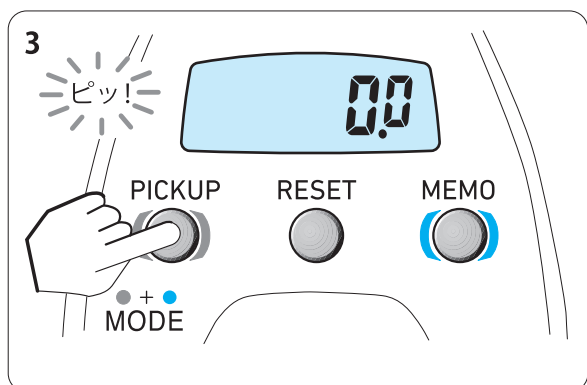
設定値は1～Hiまでです。



(25に設定した場合)

3. PICKUP (チョイ止巻) スイッチ を5回押し、「水深」画面に戻せばセット完了です。

画面に  (チョイ巻) が表示されます。



・船べり停止位置+3mからは、安全のためスイッチを押しても作動しません。

機能設定の基本操作「5.チョイ止め設定方法」

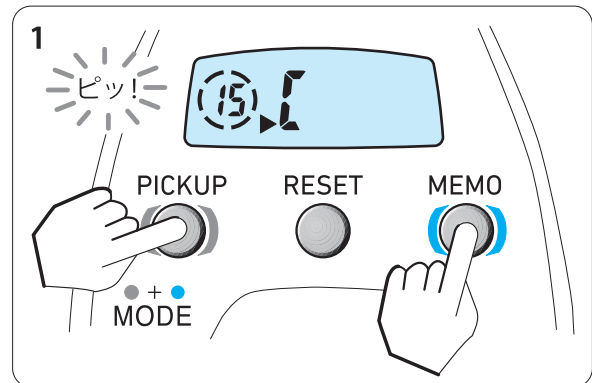
●チョイ止め

電動巻上げをしている時、PICKUP (チョイ止・巻) スイッチ を押している間だけ電動巻上げを止めることができる便利な機能です。スイッチを放せばジョグパワーレバーの位置の速度で巻上げを始めます。

●チョイ止め設定方法

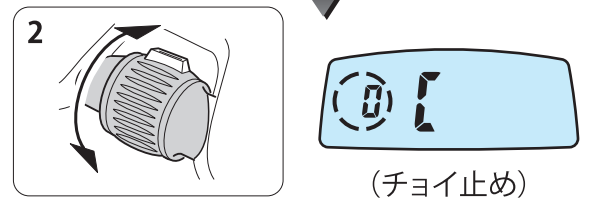
1. MEMO (船止) スイッチと PICKUP (チョイ止・巻) スイッチ を同時に2秒間押してください。

チョイ巻き画面になります。




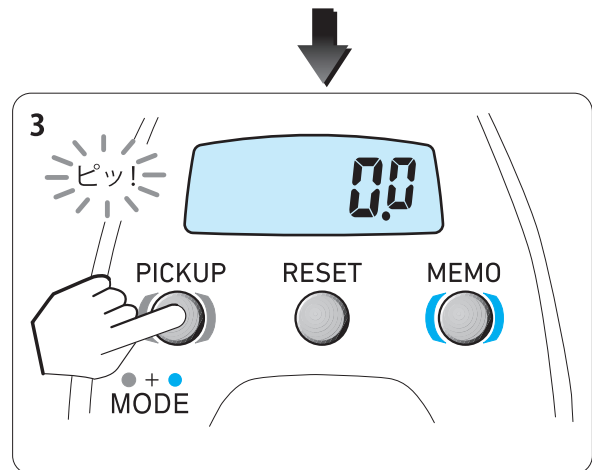
2. ジョグパワーレバーを操作して、ゼロにしてください。

ジョグパワーレバーで



3. PICKUP (チョイ止・巻) スイッチ を押して水深画面に戻せばセット完了です。

画面の  (チョイ巻) が消灯します。



⚠ 注意

- PICKUP (チョイ止・巻) スイッチ を押して停止している時に、もとの位置から±3以上ジョグパワーレバーを操作した場合、安全のため巻上げを停止します。

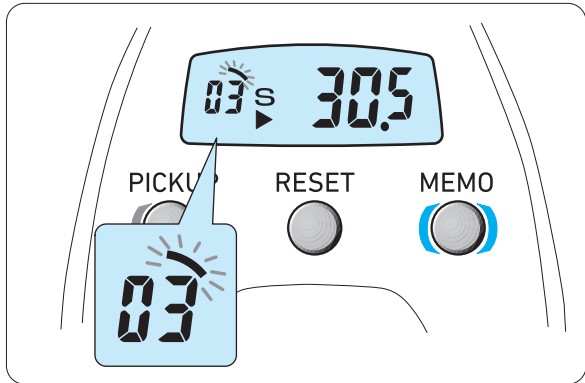
機能設定の基本操作「6.コマセタイマー」

●コマセタイマー

タイマー表示付きだから、仕掛け投入経過時間をズバリ表示。手返しペースを作るのにとっても便利。

- ・仕掛け投入開始からの経過時間を表示します。コマセ振りや仕掛け回収のタイミングを測る目安になります。
- ・コマセタイマーは MEMO (船止) スイッチが押されていないときは、水面カウンター7.0mよりオートスタートします。

※1分以内は秒単位、1分以上は分単位で表示されます。
※タイマー機能は解除できません。



・途中で MEMO (船止) スイッチを押した場合は、タイマー表示が 0.0 から表示がスタートします。

- ・コマセタイマー表示は、船べり停止位置まで巻き上げると消灯します。



※外枠の1つが10秒を表し、順番に点滅していきます。

機能設定の基本操作「7.コマセタイマー巻上げ」

●コマセタイマー巻上げ

初心者もプロの手返し!待ち時間をセットすればリールが自動で巻上げてくれるから、より効率の良い釣りが簡単にできます。

- 1回の投入の待ち時間を5分とリールに設定すれば、タイマーがスタートした時点より5分たてば、自動的にリールが手返しのため高速で仕掛けを巻き上げます。
- コマセタイマー巻上げがセットされると、液晶内に **T** (タイマー) が点灯します。解除するときは設定を **0** (OFF) にしてください。 **T** (タイマー) が消灯します。
- セットした時間は **MEMO (船止)** スイッチ を押すことにより、確認することができます。
- コマセタイマーの巻上げの設定は、電動巻き上げ中以外はいつでもできます。

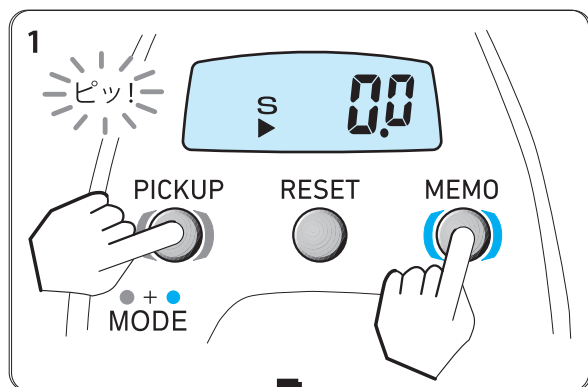
※コマセタイマーの巻上げのスタートは、**MEMO (船止)** スイッチ を押してください。

1. MEMO (船止) スイッチと

PICKUP (チョイ止巻) スイッチ

を同時に2秒間押し、モード画面に入り、チョイ巻き設定画面にします。

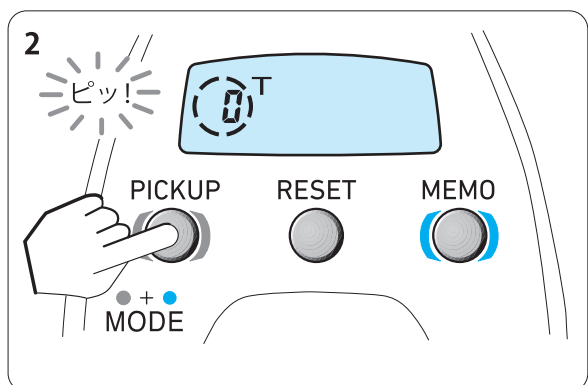
※P.28,29「モード画面の使い方」参照。



2. PICKUP (チョイ止巻) スイッチを2回押し、タイマー設定画面にします。

T が表示されます。

- コマセタイマー巻上げ前に、アラームにてお知らせします。
- 初期設定はOFFになっています。

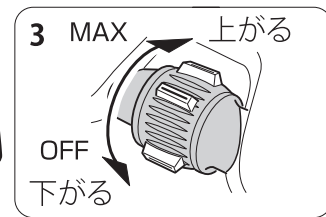
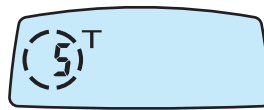


機能設定の基本操作「7.コマセタイマー巻上げ」

3. ジョグパワーレバー操作で手返しの待ち時間(分)を入力します。

レバーを上げると数値が上がり、手前に引くと数値が下がります。

(図は待ち時間を5分にセットした場合です。)

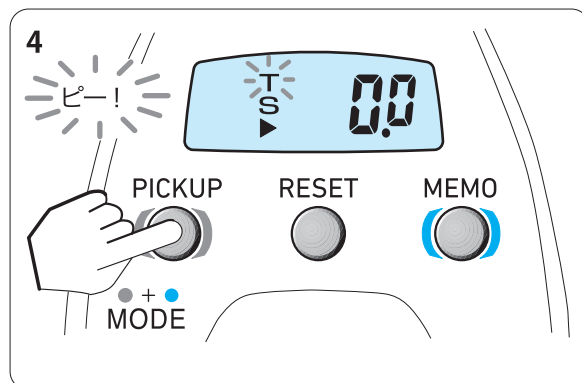


4. PICKUP (チョイ止巻) スイッチを押して、水深画面に戻ったらセット完了です。

画面に **T** (タイマー) が点灯します。

5. セットした時間がくると、自動的にMAXスピードで仕掛けを巻き上げます。

・巻き上げ前にアラームが鳴ってお知らせします。



ヒント！

- ・仕掛け投入開始からの経過時間を表示します。コマセ振りや仕掛け回収のタイミングを測る目安になります。
- ・コマセタイマーは、水深カウンター7.0mよりオートスタートします。

機能設定の基本操作「8.表示補正」

●表示補正

カウンターの表示が糸色に対してズレてきた時、糸色に合わせてカウンター表示を補正することができます。

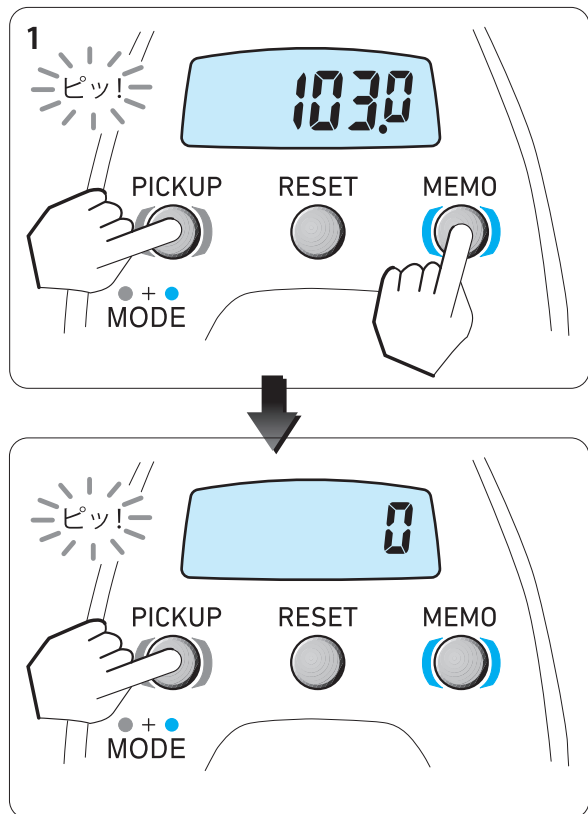
便利

実釣中にカウンターを補正することができます！

(例) 糸色ではちょうど100mに対しカウンターの表示を103mから糸色100mに合わせ補正する場合。

1. MEMO (船止) スイッチと PICKUP (チョイ止・巻) スイッチを同時に2秒間押し続けてモード画面にしてから、さらに PICKUP (チョイ止・巻) スイッチを押して実釣来歴 (実釣時間) の画面にしてください。

※P.28,29「モード画面の使い方」参照。

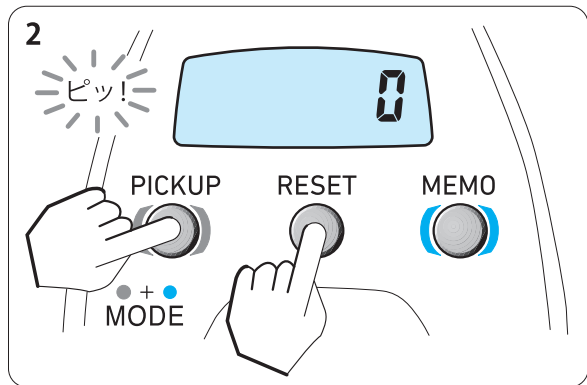


(図は0時間未使用状態を示しています。)

機能設定の基本操作「8.表示補正」

2. **RESET**(リセット) スイッチと
PICKUP(チョイ止巻) スイッチ
を同時に2秒以上押してください。

表示補正画面になります。

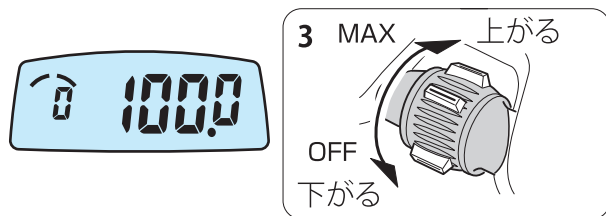


(表示補正)


3. ジョグパワーレバーを、上のカウンター
が100になるまで手前(OFF)に戻してく
ださい。

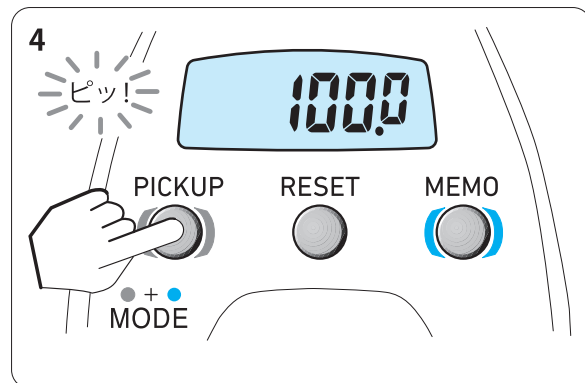
※下がりすぎてしまった場合は、MAXにすれば数値は上がります。

※100.0ちょうどにならない場合は、一番近い数字に合わせてください。



4. 100にセットできたら
PICKUP(チョイ止巻) スイッチ
を押し、水深画面に戻れば完了です。

※補正画面の時、**RESET**(リセット) スイッチ
を押せば、補正前(初期設定値 )
の表示に戻ります。



機能設定の基本操作「9.その他の便利機能」

●いろいろなアラーム



船べり、…さまざまな情報を音でお知らせ、いろいろなアラーム。

●ジョグパワーレバーアラーム

・ジョグパワーレバーのMAXの位置と、OFFの位置をアラーム音でお知らせします。

●船べりお知らせアラーム

・巻上げ中、船べり停止6m手前より2m間隔でピッ、船べり停止位置でピーツと鳴り仕掛けが船べりにだんだん近付いて来るのをお知らせします。

●スイッチアラーム

・各スイッチを押すと、アラーム(ピッ)が鳴り、スイッチが確実に押されたことを音で確かめられます。(モード設定によりOFFすることもできます。)

●過電圧警告アラーム

・電源電圧がリールの使用可能範囲より高いとき、連続アラーム音を発し、警告します。ただちにその電源の使用をやめください。

●タイマー巻上げお知らせアラーム

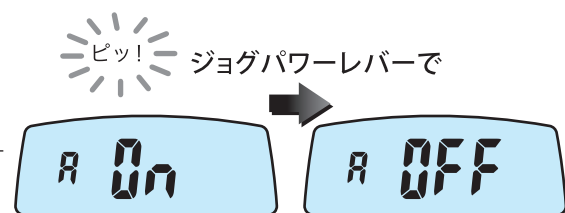
・コマセタイマー巻上げ前にアラームにてお知らせします。

●アラームON・OFF選択

アラーム音を設定により消すことができます。

・初期設定はONになっています。
・アラームをOFFにすると、スイッチ操作やジョグパワーレバーを操作してもアラーム音は出ません。

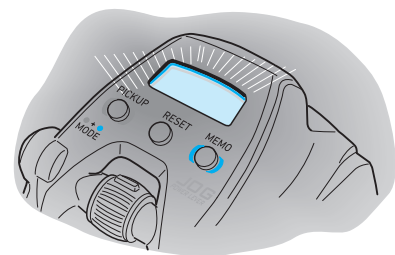
- 1.モード画面でアラームON・OFF画面にしてください。(P.28,29「モード画面の使い方」参照)
- 2.ジョグパワーレバーを操作してOFFにしてください。
3. **PICKUP** (チョイ止巻) スイッチ を押して水深画面に戻ったらセット完了です。



●カウンターランプ

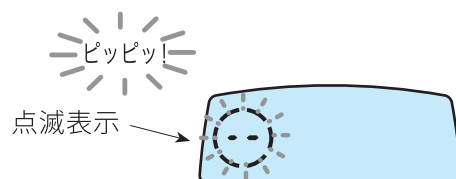
カウンター内のランプが常に点灯。

・薄暗いところでもカウンターが見えるよう、通電中はいつもカウンター内のランプがついています。



●ブレーカー作動表示

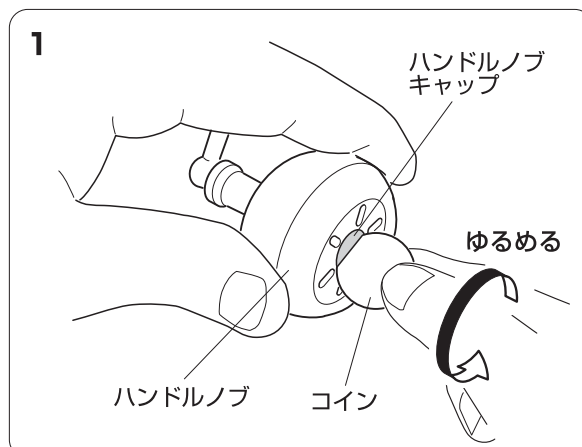
・安全に釣りをするため、リールに大きな負荷が加わるとブレーカーが作動し、15秒間電動巻上げを停止します。作動時はコマセタイマー/ジョグパワーレバー位置表示部に図のような表示が出ます。



機能設定の基本操作「10.ハンドルノブの取り外し方」

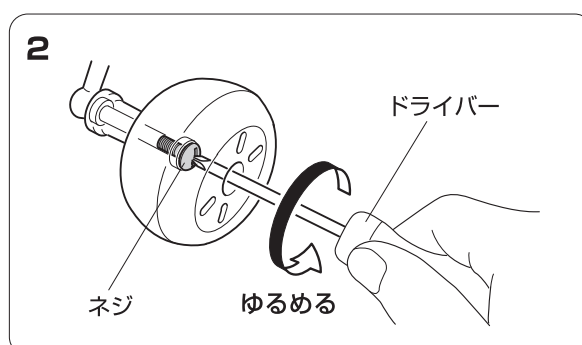
1.ハンドルノブを手で押えながらコインでハンドルノブキャップをゆるめて外します。

※ハンドルノブキャップにコインをしっかりとみ合わせて回さないと、ハンドルノブキャップが傷付いてしまいますのでご注意ください。

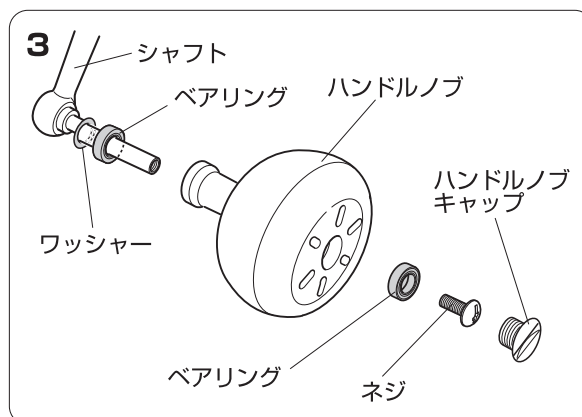


2.ドライバーでノブ内部のスクリューをゆるめて外します。

※スクリューには、ゆるみ止め防止剤が付いていて、ゆるみにくくなっています。ネジ山を傷めないようにご注意ください。



3.部品構成は図のようになります。



仕様一覧

●リール仕様一覧

シーボーク200J

製品コード		00810009	
ギア比(手動時)		4.8:1	
標準自重		475 g	
最大ドラグ力		8 kg	
標準巻糸量 ※ブライトとは、当社棚センサー ブライト(PE)のことです。	ブライト (号)	1.2	500m
		1.5	450m
		2	300m
	ナイロン (号)	3	200m
		3	250m
		4	170m
		5	140m
ベアリング入数(ボール/ローラー)		12/1	
電源電圧		DC12 V~16.8 V	
最大巻上力 ※1		38 kg	
常用巻上速度(1kg負荷時) ※2		152 m/分	
JAFS基準巻上力 ※3		9 kg	
JAFS基準巻上速度 ※3		190 m/分	
電流(A)	無負荷時		3
	定格		6
	最大		15
変速機能	無負荷時		0~190 m/分(無段階変速)
最適バッテリー		ダイワスーパーリチウムシリーズ ダイワBMバッテリーシリーズ	

※1:最大巻上力=電源電圧13V、軸トルクによる参考値。

※2:常用巻上速度=電源電圧13V、1kg負荷時の100m巻上げ速度の平均。

※3:JAFS基準巻上力/巻上速度=日本釣用品工業会規程、電源電圧13Vにおける測定値。

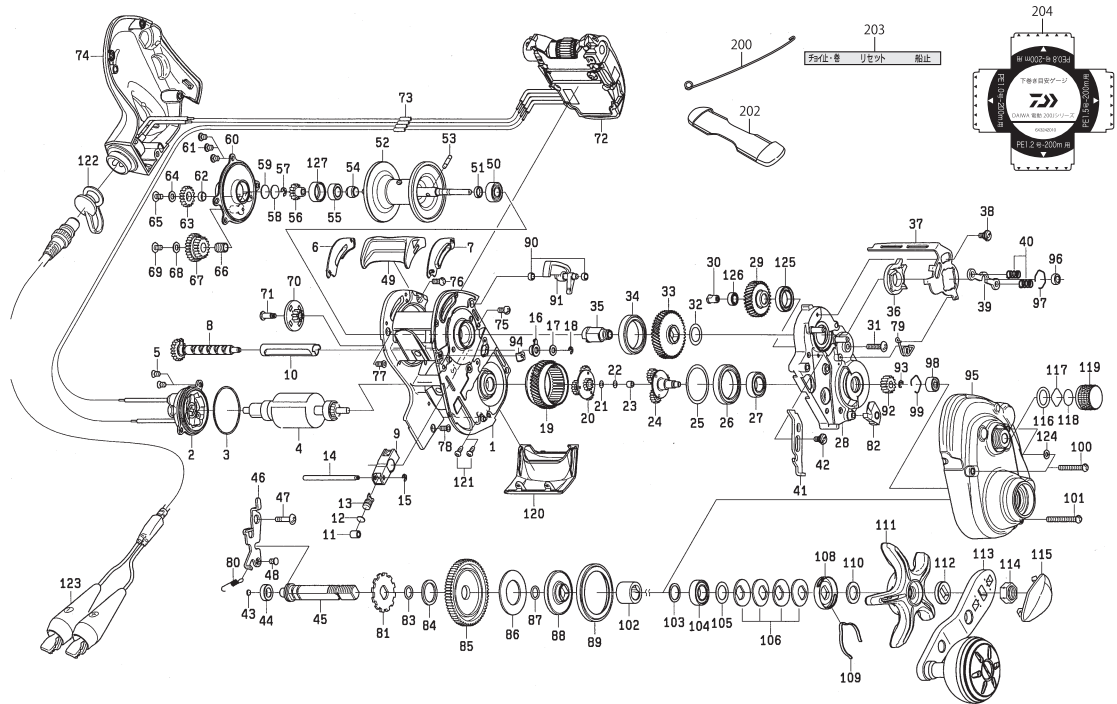
●カウンター部仕様

水深表示範囲	カウンター:0.0~999.9m
使用可能温度	-10℃~60℃

※改良のため、仕様を予告なく変更することがあります。

展開図

シーボーク 200J



No.	部品名	No.	部品名	No.	部品名	No.	部品名
1	フレーム	36	クラッチカム	71	フレームギアSC	106	ドラッグ SP・W
2	モーターホルダ -	37	クラッチカムフ レート	72	ICモジュール	108	ドラッグ ホルダ -
3	モーターホルダ -Oリング	38	クラッチカムフ レートSC	73	コード カバ -	109	ドラッグ ホルダ -リ-7SP
4	モーター	39	クラッチフ レート	74	LSフ レート	110	スタッド ラグ W
5	モーターホルダ -SC	40	クラッチSP	75	LSフ レートSC(A)	111	スタッド ラグ
6	クラッチフ レート(L)	41	キックレバ -	76	LSフ レートSC(B)	112	ハンド ルカラー
7	クラッチフ レート(R)	42	キックレバ -SC	77	LSフ レートSC(C)	113	ハンド ル
8	ウォームシャフト	43	ギ アシャフトW	78	LSフ レートSC(D)	114	ハンド ルロックフ レート
9	レバ ルワインド	44	ギ アシャフトカラー	79	クラッチカムSP	115	ハンド ルナット
10	ウォームシールド	45	ギ アシャフト	80	キックレバ -SP	116	メカニカルフ レーキノブ Oリング
11	レバ ルワインド ボ ストカラー	46	ギ アシャフトフ レート	81	ラチェット	117	メカニカルフ レーキノブ W(A)
12	ボ -ルW	47	ギ アシャフトフ レートSC(A)	82	ストッパ -	118	メカニカルフ レーキノブ W(B)
13	ボ -ル	48	ギ アシャフトフ レートSC(B)	83	ギ アシャフトOリング	119	メカニカルフ レーキノブ
14	レバ ルワインド ボ スト	49	クラッチレバ -(A)	84	ド ライブ ギ アW	120	フィンガ -カバ -
15	レバ ルワインド ボ ストリテイナ	50	スフ -ルボ -ルレバ アリング	85	ド ライブ ギ ア	121	フィンガ -カバ -SC
16	ウォームシャフトカラー	51	スフ -ルレバ アリング カラー	86	ド ラグ W	122	コネクタキャップ
17	ウォームシャフトW	52	スフ -ル	87	ギ アシャフトOリング	123	コート
18	ウォームシャフトリテイナ	53	スフ -ルピ ッ	88	ド ラグ デ スクカラー	124	RSフ レートSC・W
19	モーターハウスキ ア	54	スフ -ルギ アレバ アリング カラー	89	ド ラグ ハ ッキン	125	RSセットフ レートボ -ルレバ アリング
20	モーターギ ヤ(A)	55	スフ -ルギ アボ -ルレバ アリング	90	クラッチレバ -(B)カラー	126	セットフ レートギ ア(A)ボ -ルレバ アリング
21	モーターギ ヤ(A)W/0.3	56	スフ -ルギ ア	91	クラッチレバ -(B)	127	スフ -ルギ アカラー
22	モーターギ ヤ(A)W/0.1	57	スフ -ルギ アリテイナ	92	モーターギ ヤ(C)	150	ハンド ルノブ W
23	モーターギ ヤ(B)カラー	58	スフ -ルW(A)/0.2	93	ヒ ニオンリテイナ	151	ハンド ルノブ カラー
24	モーターギ ヤ(B)	59	スフ -ルW(B)/0.5	94	ラインストッパ -	152	ハンド ルノブ
25	モーターハウスレバ アリング W	60	LSセットフ レート	95	RSフ レート	153	ハンド ルノブ SC
26	モーターハウスボ -ルレバ アリング	61	LSセットフ レートSC	96	セットフ レートギ ア(B)シャフトカラー	154	ハンド ルノブ キャップ
27	モーターギ ヤ(B)ボ -ルレバ アリング	62	セットフ レートギ ア(C)カラー	97	セットフ レートギ ア(B)シャフトリング	155	ハンド ルノブ キャップ Oリング
28	RSセットフ レート	63	セットフ レートギ ア(C)	98	RSボ -ルレバ アリング	200	イト オジビ ッ
29	セットフ レートギ ア(A)	64	セットフ レートギ ア(C)W	99	RSレバ アリング リング	201	リールフ クロ
30	セットフ レートギ ア(A)カラー	65	セットフ レートギ ア(C)SC	100	RSフ レートSC(A)	202	スタッド カバ -
31	セットフ レートギ ア(A)SC	66	セットフ レートギ ア(D)カラー	101	RSフ レートSC(B)	203	JAPANESEシール
32	セットフ レートギ ア(B)W	67	セットフ レートギ ア(D)	102	ド ラグ カラー	204	シタマキガ -ジ
33	セットフ レートギ ア(B)	68	セットフ レートギ ア(D)W	103	ド ラグ カラー-W	205	マニュアル(レバ ツウリ)
34	セットフ レートギ ヤ(B)ボ -ルレバ アリング	69	セットフ レートギ ア(D)SC	104	ハンド ルボ -ルレバ アリング		
35	セットフ レートギ ヤ(B)シャフト	70	フレームギ ア	105	ハンド ルレバ アリング W		

※調整、その他により、展開図、部品表内容が製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

故障かな?と考える前に

症 状	考えられる原因	処 置	参 照 ページ
ジョグパワーレバーを操作しても、モーターが回転しない。	•船べり停止後、そのまま巻き続けカウンター表示が 0.0 mになっています。	•正常です。(巻込み防止のため手動以外作動しないようにしてあります) RESET(リセット) スイッチを押せば巻き上げ可能になります。	31
	•レバーを1度OFFの位置に戻していません。	•1度レバーをOFFの位置に戻して巻き上げを開始してください。	15
	•安定しない船の電源を使用しています。	•船電源は不安定で、正常に作動しないことがあります。電動リール専用バッテリーをご使用ください。	9
カウンターがつかない。	•バッテリーの残量切れです。	•バッテリーを再充電してご使用ください。	10
	•コードの断線です。	•コードを新品と交換してください。	13
	•バッテリーと + 、 - が正しく接続されていません。	•正しく接続し直してください。	8
船べり停止位置がおかしい。	•仕掛けセットしたとき、 RESET(リセット) スイッチを押していません。	•仕掛けをセットした後は必ず水面ゼロ設定をしてください。	30
	•オモリの号数や船のゆれによって多少ズレることがあります。	•えらべる船べり停止の設定値を調整してください。	30,31
	•糸がのびて水面ゼロ設定点が下にズレてしまっています。	•水面ゼロ設定を再度行ってください。	30,31
カウンター表示に誤差が多い。	•使用中に道糸がのびることがあり、カウンター表示と色糸との間に差が生じることがあります。	•再度、道糸データを入力してください。 •表示補正をしてください。	18~27 37,38
	•実釣中、電源が消えた時に糸を巻いてしまった。	•再度、道糸データを入力してください。	18~27
	•糸を出している時に、 RESET(リセット) スイッチを長押ししてしまった。	•再度、道糸データを入力してください。	
	•大幅な表示補正をしています。	•補正を解除してください。	37,38
	•速度設定が0になっています。	•モード画面で速度を設定してください。	32

※上記の点検が行なわれてもなお、正常に戻らない場合、およびほかの故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際は、お買い求めの販売店、または取説裏面に記載されたお客様センターにおたずねください。

アフターサービスについて

本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万一、故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際は買い求めの販売店、または下記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター（無料） 携帯電話からもご利用できます

TEL **0120-506-204**

受付時間：9:00～17:00（土・日・祝祭日は除く）

ホームページ上からもご確認、お問い合わせできます

daiwa.globeride.co.jp

グローブライド株式会社

〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16